

前 金	部 分 払
有	一 回

令和 6 年 度
農 基 林 振 補 第 1 号

林道中畑線開設工事設計書

工事仕様は特記以外は三重県公共工事共通仕様書
及び工事監督員の指示による。

津 市
農 林 水 産 部 農 業 基 盤 整 備 課

令和6年度		農基林振補 第1号		工 事 設 計 書	
施工場所		津市美里町平木地内		担当参事(兼)課長	
				検 算 者	
工 事 名		林道中畑線開設工事		担当主幹	
				担当副主幹	
設 計 額		(うち消費税等相当額)		設 計 者	
工 期		令和7年2月28日限り			
長	—	巾	—		
工 事 の 大 要					
法面吹付工		208 m ²			
場所打擁壁工		2 基			
補強土壁工		一 式			

位置図

令和6年度農基林振補第1号
林道中畑線開設工事



工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度農基林振補第 1 号 林道中畑線開設工事	当初		事業区分	林道	
						工事区分	林道開設・改良	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
林道開設・改良				式		1		
林道土工				式		1		
掘削工				式		1		
掘削			礫質土、軟岩 I A	m3		106		
盛土工				式		1		
切取盛土（横断流用）			礫質土、軟岩 I A	m3		364		
切取盛土（20m以内縦断流用）			礫質土、軟岩 I A	m3		194		
切取盛土（20m以上縦断流用）			礫質土、軟岩 I A	m3		396		

工事数量総括表

		工事名	令和6年度農基林振補第1号 林道中畑線開設工事		当初	事業区分	林道	
						工事区分	林道開設・改良	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
盛土敷均し締固め			礫質土、軟岩 I A	m3		890		
山土			購入土	m3		257		
法面整形工				式		1		
法面整形（切土部）（1）			礫質土	m2		344.6		
法面整形（切土部）（2）			軟岩 I A	m2		234.2		
法面整形（盛土部）			礫質土	m2		384.5		
法面工				式		1		
植生工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和6年度農基林振補第1号 林道中畑線開設工事		当初	事業区分	林道	
						工事区分	林道開設・改良	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
植生シート			多機能フィルターSP-30同等品以上	m2		365.6		
植生マット			肥料袋付	m2		328.4		
法面吹付工				式		1		
モルタル吹付			t=70	m2		208.4		
擁壁工				式		1		
作業土工				式		1		
床掘り（1）			礫質土 重力式擁壁	m3		39		
床掘り（2）			軟岩ⅠA 重力式擁壁	m3		33		

工事数量総括表

		工事名	令和6年度農基林振補第1号 林道中畑線開設工事	当初	事業区分	林道		
					工事区分	林道開設・改良		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋戻し（1）			流用土 重力式擁壁	m3		14		
埋戻し（2）			流用土 補強土壁	m3		87		
埋戻し（3）			流用土 補強土壁	m3		178		
埋戻し（4）			流用土 補強土壁	m3		10		
場所打擁壁工				式		1		
重力式擁壁（1）			18- 8- 40BB	基		1		
重力式擁壁（2）			18- 8- 40BB	基		1		
側壁（1）				基		1		

工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度農基林振補第 1 号 林道中畑線開設工事		当初	事業区分	林道	
						工事区分	林道開設・改良	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
側壁（2）				基		1		
側壁（3）				基		1		
側壁（4）				基		1		
補強土壁工				式		1		
補強土壁			(A=87. 2m2)	式		1		
排水構造物工				式		1		
作業土工				式		1		
床掘り（1）			礫質土	m3		11		

工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度農基林振補第 1 号 林道中畑線開設工事		当初	事業区分	林道	
						工事区分	林道開設・改良	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
床掘り（2）			軟岩 I A	m3		2		
埋戻し（1）			流用土	m3		3		
側溝工				式		1		
L型側溝（1）			250B（岩着タイプ）	m		8. 5		
L型側溝（2）			250B（土着タイプ）	m		11. 5		
プレキャストU型側溝			U300B	m		9. 4		
横断溝工				式		1		
自由勾配横断溝			B300×H350型（I=0%） L=3. 2m	箇所		1		

工事数量総括表

		工事名	令和6年度農基林振補第1号 林道中畑線開設工事		当初	事業区分	林道	
						工事区分	林道開設・改良	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管きょ工				式		1		
横断暗きょ（1）			耐圧ポリエチレンリブ管φ600 R30	m		7.5		
横断暗きょ（2）			耐圧ポリエチレンリブ管φ700 R30	m		9		
法面排水工				式		1		
縦排水			ベンチフリュームⅡ-300	m		9		
吐口工				式		1		
吐口			18-8-25BB	基		1		
流末処理工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度農基林振補第 1 号 林道中畑線開設工事	当初	事業区分	林道		
					工事区分	林道開設・改良		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ふとんかご			500×1200×2000	m		8		
集水枡・マンホール工				式		1		
現場打集水枡（1）			18- 8- 25BB	基		2		
現場打集水枡（2）			18- 8- 25BB	基		1		
舗装工				式		1		
舗装準備工				式		1		
不陸整正			補足材（RC- 40） 、 t=20mm（平均）	m2		75		
コンクリート路面工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和6年度農基林振補第1号 林道中畑線開設工事	当初	事業区分	林道		
					工事区分	林道開設・改良		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
コンクリート路面（1）			18- 8- 40BB、t=150、溶接金網無	m2		19. 5		
コンクリート路面（2）			18- 8- 40BB、t=150、溶接金網有	m2		55. 5		
型枠				m2		4. 5		
防護柵工				式		1		
路側防護柵工				式		1		
ガードレール（1）			Gr- C- 4E、直線部	m		29. 6		
ガードレール（2）			Gr- C- 2B、直線部	m		5		
標識工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度農基林振補第 1 号 林道中畑線開設工事		当初	事業区分	林道	
						工事区分	林道開設・改良	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
小型標識工				式		1		
警戒標識			倍率1.0アルミ封入レンズ	基		1		
直接工事費				式		1		
共通仮設費				式		1		
共通仮設費				式		1		
準備費				式		1		
立木伐採集積費				式		1		
根株運搬費				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度農基林振補第 1 号 林道中畑線開設工事			当初	事業区分	林道
							工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
根株処分費				式		1		
枝葉運搬費				式		1		
枝葉処分費				式		1		
幹積込費				式		1		
木材売却費				式		1		
技術管理費				式		1		
土質等試験費			土質試験	式		1		
共通仮設費（率計上）				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度農基林振補第 1 号 林道中畑線開設工事		当初	事業区分	林道	
						工事区分	共通仮設費	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
純工事費				式		1		
現場管理費				式		1		
工事原価				式		1		
一般管理費等				式		1		
工事価格				式		1		
消費税相当額				式		1		
工事費計				式		1		

令和6年度 農基林振補第1号

林道中畑線開設工事

数量総括表

(補助対象工事)

レベル1 : 林道開設・改良

レベル1 : 共通仮設費

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
林道開設・改良					式	1	
	林道土工				式	1	
		掘削工			式	1	
			掘削	礫質土、軟岩ⅠA	m3	106	逸散分
		盛土工			式	1	
			切取盛土（横断流用）	礫質土、軟岩ⅠA	m3	364	
			切取盛土（20m以内縦断流用）	礫質土、軟岩ⅠA	m3	194	
			切取盛土（20m以上縦断流用）	礫質土、軟岩ⅠA	m3	396	
			盛土敷均し締固め	礫質土、軟岩ⅠA	m3	890	
			山土	購入土	m3	257	
		法面整形工			式	1	
			法面整形（切土部）（1）	礫質土	m2	344.6	
			法面整形（切土部）（2）	軟岩ⅠA	m2	234.2	
			法面整形（盛土部）	礫質土	m2	384.5	
	法面工				式	1	

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
		植生工			式	1	
			植生シート	多機能フィルターSP-30同等品以上	m2	365.6	
			植生マット	肥料袋付	m2	328.4	
		法面吹付工			式	1	
			モルタル吹付	t=70	m2	208.4	
	擁壁工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り (1)	礫質土	m3	39	重力式擁壁
			床掘り (2)	軟岩 I A	m3	33	重力式擁壁
			埋戻し (1)	流用土	m3	14	重力式擁壁
			埋戻し (2)	流用土	m3	87	補強土壁
			埋戻し (3)	流用土	m3	178	補強土壁
			埋戻し (4)	流用土	m3	10	補強土壁
		場所打擁壁工			式	1	
			重力式擁壁 (1)	18-8-40BB	基	1	

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			重力式擁壁 (2)	18-8-40BB	基	1	
			側壁 (1)		基	1	
			側壁 (2)		基	1	
			側壁 (3)		基	1	
			側壁 (4)		基	1	
		補強土壁工			式	1	
			補強土壁		式	1	(A=87.2m2)
	排水構造物工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り (1)	礫質土	m3	11	
			床掘り (2)	軟岩 I A	m3	2	
			埋戻し (1)	流用土	m3	3	
		側溝工			式	1	
			L型側溝 (1)	250B (岩着タイプ)	m	8.5	リサイクル認定製品
			L型側溝 (2)	250B (土着タイプ)	m	11.5	リサイクル認定製品

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			プレキャストU型側溝	U300B	m	9.4	リサイクル認定製品
		横断溝工			式	1	
			自由勾配横断溝	B300×H350型 (I=0%) L=3.2m	箇所	1	リサイクル認定製品
		管きょ工			式	1	
			横断暗きょ (1)	耐圧ポリエチレンリブ管φ600 R30	m	7.5	
			横断暗きょ (2)	耐圧ポリエチレンリブ管φ700 R30	m	9.0	
		法面排水工			式	1	
			縦排水	ベンチフリュームⅡ-300	m	9.0	リサイクル認定製品
		吐口工			式	1	
			吐口	18-8-25BB	基	1	
		流末処理工			式	1	
			ふとんかご	500×1200×2000	m	8.0	
		集水柵・マンホール工			式	1	
			現場打集水柵 (1)	18-8-25BB	基	2	
			現場打集水柵 (2)	18-8-25BB	基	1	

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
	舗装工				式	1	
		舗装準備工			式	1	
			不陸整正	補足材 (RC-40)、t=20mm (平均)	m2	75.0	
		コンクリート路面工			式	1	
			コンクリート路面 (1)	18-8-40BB、t=150、溶接金網無	m2	19.5	
			コンクリート路面 (2)	18-8-40BB、t=150、溶接金網有	m2	55.5	
			型枠		m2	4.5	
	防護柵工				式	1	
		路側防護柵工			式	1	
			ガードレール (1)	Gr-C-4E、直線部	m	29.6	
			ガードレール (2)	Gr-C-2B、直線部	m	5.0	
	標識工				式	1	
		小型標識工			式	1	
			警戒標識	倍率1.0アルミ封入レンズ	基	1	
共通仮設費					式	1	

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
	共通仮設費				式	1	
		準備費			式	1	
			立木伐採集積費		式	1	
			根株運搬費		式	1	
			根株処分費		式	1	
			枝葉運搬費		式	1	
			枝葉処分費		式	1	
			幹積込費		式	1	
			木材売却費		式	1	
		技術管理費			式	1	
			土質等試験費	土質試験	式	1	

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
林道土工	掘削工 盛土工	掘削	別紙切土量計算書より 礫質土、軟岩 I A 逸散分 V= 105.8	m3	105.8
		切取盛土(横断流用)	別紙盛土量計算書より 礫質土、軟岩 I A V= 363.8	m3	363.8
		切取盛土(20m以内縦断流用)	別紙流用土量計算書より 礫質土、軟岩 I A V= 193.6	m3	193.6
		切取盛土(20m以上縦断流用)	別紙流用土量計算書より 礫質土、軟岩 I A V= 396.3	m3	396.3
		盛土敷均し締固め	別紙盛土量計算書より 礫質土、軟岩 I A 盛土全体 埋戻し(2) 埋戻し(3) V= 1,154.4 - 86.8 - 177.7 = 889.9	m3	889.9

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		山土	購入土 全体必要土量 $V1 = \begin{matrix} \text{盛土全体} & & \text{埋戻し(重力式擁壁)} & & \text{埋戻し(補強土壁)} & & \text{埋戻し(排水構造物工)} \end{matrix}$ $1,154.4 + 13.7 + 10.9 + 3.1 = 1,182.1$ 掘削・床掘り(礫質土) $V2 = \begin{matrix} \text{掘削(切土)} & & \text{床掘り(重力式擁壁)} & & \text{床掘り(排水構造物工)} \end{matrix}$ $(452.0 + 38.6 + 11.2) \times 0.9 = 451.6$ 掘削・床掘り(軟岩) $V3 = \begin{matrix} \text{掘削(切土)} & & \text{床掘り(重力式擁壁)} & & \text{床掘り(排水構造物工)} \end{matrix}$ $501.5 + 33.4 + 2.1 = 537.0$ $\Sigma V = (1,182.1 - 451.6 - 537.0) \times 1.33 = 257.36$	m3	257.4
	法面整形工	法面整形(切土部)(1)	別紙法面整形工計算書より 礫質土 $A = 320.8 + 23.8 = 344.6$	m2	344.6
		法面整形(切土部)(2)	別紙法面整形工計算書より 軟岩 I A $A = 204.1 + 30.1 = 234.2$	m2	234.2
		法面整形(盛土部)	別紙法面整形工計算書より 礫質土 $A = 384.5$	m2	384.5

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
法面工 擁壁工	植生工	植生シート	別紙法面工面積計算書より 多機能フィルターSP-30同等品以上 A= 365.6	m2	365.6
		植生マット	別紙法面工面積計算書より 肥料袋付 A= 328.4	m2	328.4
	法面吹付工	モルタル吹付	別紙法面工面積計算書より t=70 A= 208.4	m2	208.4
	作業土工	床掘り(1)	別紙重力式擁壁(1)(2)数量計算書より 礫質土 V= 23.63 + 14.98 = 38.61	m3	38.6
		床掘り(2)	別紙重力式擁壁(1)(2)数量計算書より 軟岩 I A V= 12.41 + 20.99 = 33.40	m3	33.4
		埋戻し(1)	別紙重力式擁壁(1)(2)数量計算書より 流用土 V= 7.51 + 6.15 = 13.66	m3	13.7
		埋戻し(2)	別紙土量計算書より 流用土 V= 86.8	m3	86.8

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	場所打擁壁工	埋戻し(3)	別紙土量計算書より 流用土 V= 177.7	m3	177.7
		埋戻し(4)	別紙盛土量計算書より 流用土 V= 10.3	m3	10.3
		重力式擁壁(1)	別紙重力式擁壁(1)数量計算書より 18-8-40BB N= 1.0	基	1.0
		重力式擁壁(2)	別紙重力式擁壁(2)数量計算書より 18-8-40BB N= 1.0	基	1.0
	補強土壁工	側壁(1)	別紙側壁(1)数量計算書より N= 1.0	基	1.0
		側壁(2)	別紙側壁(2)数量計算書より N= 1.0	基	1.0
		側壁(3)	別紙側壁(3)数量計算書より N= 1.0	基	1.0
		側壁(4)	別紙側壁(4)数量計算書より N= 1.0	基	1.0
		補強土壁	別紙補強土壁単位数量計算書より (A=87.2m2) N= 1.0	式	1.0

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
排水構造物工	作業土工	床掘り(1)	礫質土 プレキャストU型側溝 V1= 0.323 × 9.4 = 3.04	m3	11.2
			自由勾配横断溝 V2= 0.85		
			横断暗きよ(1) V3= 4.56		
			横断暗きよ(2) V4= 2.24		
			現場打集水桝(2) V5= 0.51 Σ = 11.20		
		床掘り(2)	軟岩 I A 横断暗きよ(1) V1= 0.19	m3	2.1
			横断暗きよ(2) V2= 0.96		
			現場打集水桝(2) V3= 0.95 Σ = 2.10		

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	側溝工	埋戻し(1)	流用土 L型側溝 $V1 = 0.02 \times (8.5 + 11.5) = 0.40$ プレキャストU型側溝 $V2 = 0.117 \times 9.4 = 1.10$ 自由勾配横断溝 $V3 = 0.26$ 横断暗きょ(1) $V4 = 1.05$ 横断暗きょ(2) $V5 = 0.12$ 現場打集水桝(2) $V6 = 0.13$ $\Sigma = 3.06$	m3	3.1
		L型側溝(1)	250B(岩着タイプ) リサイクル認定製品 No.80+11.5～No.81 $L = 8.5$	m	8.5
		L型側溝(2)	250B(土着タイプ) リサイクル認定製品 No.79+15.0～No.80+6.5(IP.51) $L = 11.5$	m	11.5

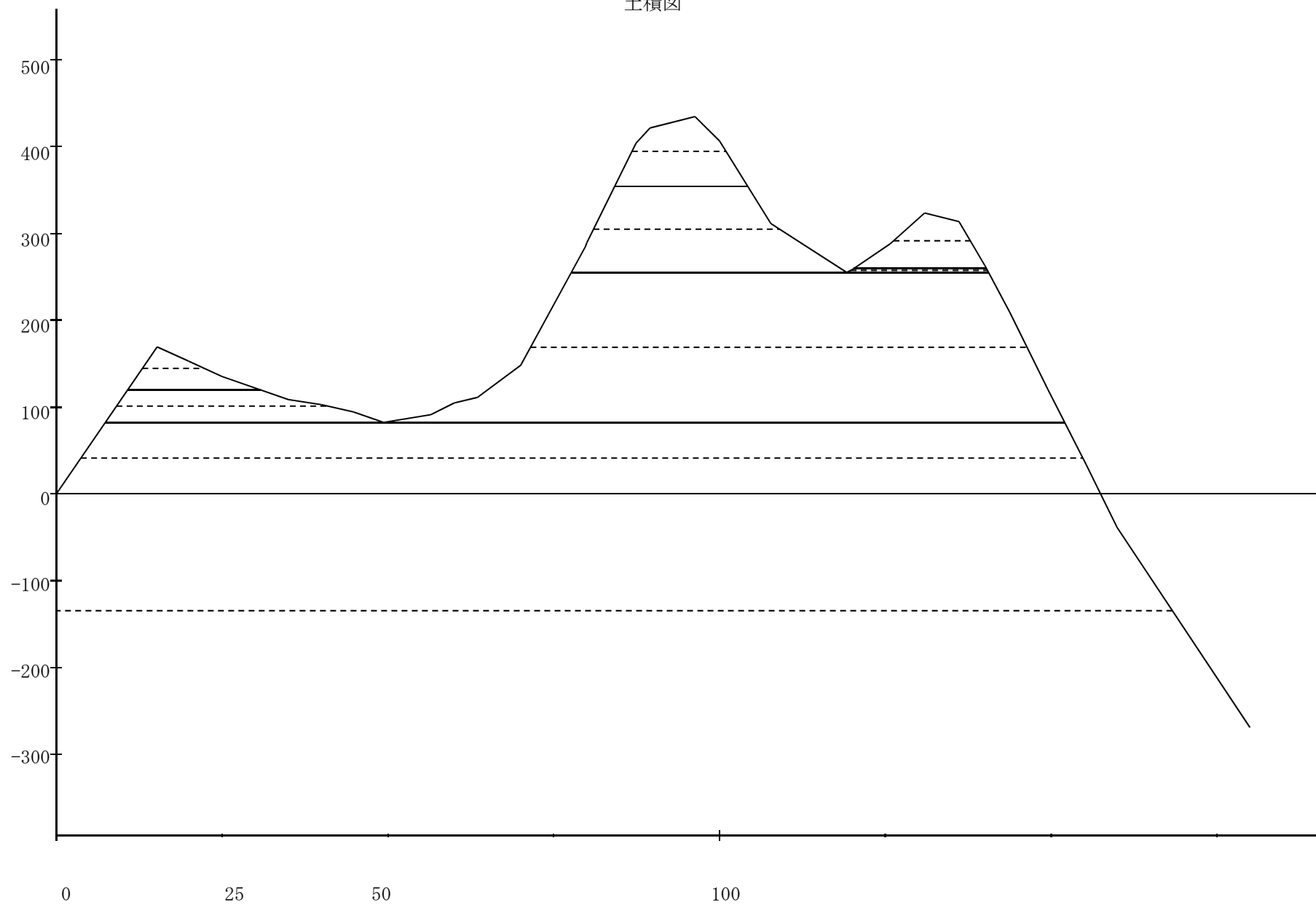
数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		プレキャストU型側溝	U300B リサイクル認定製品 No.86+11.0～No.86+13.0 No.89+3.0～No.89+6.5 L1= 4.4 L2= 5.0 Σ= 9.4	m	9.4
	横断溝工	自由勾配横断溝	B300×H350型(I=0%) L=3.2m リサイクル認定製品 N= 1.0	箇所	1.0
	管きょ工	横断暗きょ(1)	耐圧ポリエチレンリブ管 φ 600 R30 L= 7.5	m	7.5
		横断暗きょ(2)	耐圧ポリエチレンリブ管 φ 700 R30 L= 9.0	m	9.0
	法面排水工	縦排水	ベンチフリュームⅡ-300 リサイクル認定製品 L= 8.95	m	9.0
	吐口工	吐口	18-8-25BB N= 1.0	基	1.0
	流末処理工	ふとんかご	500×1200×2000 横断暗きょ(1) 横断暗きょ(2) L= 4.0 + 4.0 = 8.0	m	8.0
	集水樹・マンホール工	現場打集水樹(1)	18-8-25BB N= 2.0	基	2.0

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
舗装工	舗装準備工	現場打集水柵(2)	18-8-25BB N= 1.0	基	1.0
		不陸整正	別紙舗装準備工面積計算書より 補足材(RC-40)、t=20mm(平均) A= 75.0	m2	75.0
	コンクリート路面工	コンクリート路面(1)	別紙コンクリート路面工面積計算書より 18-8-40BB、t=150、溶接金網無 A= 19.5	m2	19.5
		コンクリート路面(2)	別紙コンクリート路面工面積計算書より 18-8-40BB、t=150、溶接金網有 A= 55.5	m2	55.5
防護柵工	路側防護柵工	型枠	$A = (25.0 \times 2 - 20.0) \times 0.15$ (L型側溝控除 L=20.0m) = 4.5	m2	4.5
		ガードレール(1)	Gr-C-4E、直線部 No.79+4.4~No.80+14.5(右) L= 29.6	m	29.6
		ガードレール(2)	Gr-C-2B、直線部 No.80+6.4~No.80+11.0 L= 5.0	m	5.0
標識工	小型標識工	警戒標識	倍率1.0アルミ封入レンズ N= 1.0	基	1.0

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
共通仮設費	準備費	立木伐採集積費	別紙立木伐採集積費集計表より N= 1.0	式	1.0
		根株運搬費	別紙立木伐採集積費集計表より W= 36.23 t N= 1.0	式	1.0
		根株処分費	W= 36.23 t N= 1.0	式	1.0
		枝葉運搬費	(想定) W= 36.23 × 0.3 = 10.87 t N= 1.0	式	1.0
		枝葉処分費	(想定) W= 36.23 × 0.3 = 10.87 t N= 1.0	式	1.0
		幹積込費	(想定) W= 36.23 × 3.0 = 108.69 t N= 1.0	式	1.0
		木材売却費	(想定) W= 36.23 × 3.0 = 108.69 t N= 1.0	式	1.0
	技術管理費	土質等試験費	土質試験 N= 1.0	式	1.0
			締固めた土のコーン指数試験 (JIS A 1228、突き固め25回) : 1試料		
			突固めによる土の締固め試験(試験方法A-a) (JIS A 1210、乾燥法一繰返し法) : 1試料		

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			三軸圧縮試験(CD試験) : 1試料 室内CBR用試料採取 (変状土、70kg採取) : 1箇所 変状土CBR試験 (設計CBR、2モールド) : 1試料		

土積図



切土量計算書

測点	切土距離	掘削(礫交り土)				掘削(軟岩 I A)											
		断面	平均	体積	土量 0.9	断面	平均	体積	土量 0.9	断面	平均	体積	土量	断面	平均	体積	土量
NO. 81		9.1				18.3											
NO. 81+15.2	15.20	1.6	5.4	82.1	73.9		9.2	139.8	125.8								
IP. 52	4.66	1.6	1.6	7.5	6.8												
NO. 82	0.14	1.7	1.7	0.2	0.2												
NO. 82+5.0	5.00	1.7	1.7	8.5	7.7												
NO. 82+15.0	10.00	0.0	0.9	9.0	8.1												
NO. 83	5.00	0.0															
NO. 83+4.8	4.80	0.1	0.1	0.5	0.5												
BC. 53	4.55	0.1	0.1	0.5	0.5												
MC. 53	7.53	4.8	2.4	18.1	16.3	0.7	0.3	2.3	2.1								
NO. 84	3.96	2.0	3.4	13.5	12.2	0.1	0.4	1.6	1.4								
同所		1.5	1.8			0.3	0.2										
EC. 53	3.73	1.5	1.5	5.6	5.0	0.5	0.4	1.5	1.4								
BC. 54	6.54	4.0	2.8	18.3	16.5	6.5	3.5	22.9	20.6								
MC. 54	8.20	7.2	5.6	45.9	41.3	19.3	12.9	105.8	95.2								
NO. 85	0.19	7.7	7.5	1.4	1.3	19.2	19.3	3.7	3.3								
NO. 85+7.415	6.47	7.3	7.5	48.5	43.7	5.2	12.2	78.9	71.0								
同所		8.6	8.0			9.3	7.3										
EC. 54	1.92	8.9	8.8	16.9	15.2	10.3	9.8	18.8	16.9								
BC. 55	6.78	3.5	6.2	42.0	37.8	1.9	6.1	41.4	37.3								
NO. 86	3.19	2.1	2.8	8.9	8.0	4.2	3.1	9.9	8.9								
MC. 55	6.81	3.5	2.8	19.1	17.2	7.2	5.7	38.8	34.9								
EC. 55	10.68	5.5	4.5	48.1	43.3	4.9	6.1	65.1	58.6								
同所		3.5	4.5			0.8	2.8										
NO. 87	0.82	3.1	3.3	2.7	2.4	0.6	0.7	0.6	0.5								
BC. 56	5.73	5.5	4.3	24.6	22.1	2.3	1.5	8.6	7.7								
MC. 56	5.20	5.0	5.3	27.6	24.8	2.2	2.3	12.0	10.8								
EC. 56	5.20	1.2	3.1	16.1	14.5		1.1	5.7	5.1								
NO. 88	3.87		0.6	2.3	2.1												
同所																	
BC. 57	3.77																
MC. 57	5.76																
EC. 57	5.76																
NO. 89	4.71																
NO. 90	20.00	3.3	1.7	34.0	30.6												
合計	176.17			501.9	452.0			557.4	501.5								

総切土量 1059.3

掘削量 105.8

盛土量計算書

測点	切土量	盛土距離	盛土全体				埋戻し				盛土総量	センター距離	累加距離	累加土量	横断流用
			断面	平均	体積	土量 1.05	断面	平均	体積	土量 1.05					
NO. 81															
NO. 81+15.2	199.7	15.20	3.8	1.9	28.9	30.3					30.3	15.2	15.20	169.40	30.3
IP. 52	6.8	4.66	5.5	4.7	21.9	23.0					23.0	4.7	19.86	153.20	6.8
NO. 82	0.2	0.14	4.2	4.9	0.7	0.7					0.7	0.1	20.00	152.70	0.2
NO. 82+5.0	7.7	5.00	5.3	4.8	24.0	25.2					25.2	5.0	25.00	135.20	7.7
NO. 82+15.0	8.1	10.00	1.3	3.3	33.0	34.7					34.7	10.0	35.00	108.60	8.1
NO. 83		5.00	1.0	1.1	5.5	5.8					5.8	5.0	40.00	102.80	
NO. 83+4.8	0.5	4.80	2.6	1.8	8.6	9.0					9.0	4.8	44.80	94.30	0.5
BC. 53	0.5	4.55	2.6	2.6	11.8	12.4					12.4	4.6	49.35	82.40	0.5
MC. 53	18.4	7.09		1.3	9.2	9.7					9.7	7.1	56.43	91.10	9.7
NO. 84	13.6	3.57										3.6	60.00	104.70	
同所													60.00	104.70	
EC. 53	6.4	3.50										3.5	63.50	111.10	
BC. 54	37.1	6.54										6.5	70.04	148.20	
MC. 54	136.5	9.74										9.7	79.78	284.70	
NO. 85	4.6	0.22										0.2	80.00	289.30	
NO. 85+7.415	114.7	7.72										7.4	87.42	404.00	
同所			4.6	2.3			0.5	0.3					87.42	404.00	
EC. 54	32.1	2.30	6.6	5.6	12.9	13.5	0.4	0.5	1.2	1.3	14.8	2.1	89.52	421.30	14.8
BC. 55	75.1	6.78	10.1	8.4	57.0	59.9	0.2	0.3	2.0	2.1	62.0	6.8	96.30	434.40	62.0
NO. 86	16.9	3.24	15.5	12.8	41.5	43.6	0.5	0.4	1.3	1.4	45.0	3.7	100.00	406.30	16.9
MC. 55	52.1	6.99	23.9	19.7	137.7	144.6	0.3	0.4	2.8	2.9	147.5	7.7	107.74	310.90	52.1
EC. 55	101.9	10.04	5.5	14.7	147.6	155.0	0.4	0.3	3.0	3.2	158.2	11.4	119.18	254.60	101.9
同所				2.8				0.2					119.18	254.60	
NO. 87	2.9	0.82										0.8	120.00	257.50	
BC. 56	29.8	5.73										5.7	125.73	287.30	
MC. 56	35.6	5.20										5.2	130.93	322.90	
EC. 56	19.6	5.20	10.8	5.4	28.1	29.5					29.5	5.2	136.13	313.00	19.6
NO. 88	2.1	3.87	15.0	12.9	49.9	52.4					52.4	3.9	140.00	262.70	2.1
同所			14.5	14.8									140.00	262.70	
BC. 57		3.77	12.6	13.6	51.3	53.9					53.9	3.8	143.77	208.80	
MC. 57		5.76	16.8	14.7	84.7	88.9					88.9	5.8	149.53	119.90	
EC. 57		5.76	11.8	14.3	82.4	86.5					86.5	5.8	155.29	33.40	
NO. 89		4.71	17.8	14.8	69.7	73.2					73.2	4.7	160.00	-39.80	
NO. 90	30.6	20.00	6.9	12.4	248.0	260.4					260.4	20.0	180.00	-269.60	30.6
合計	953.5				1154.4	1212.2			10.3	10.9	1223.1	180.0			363.8

2 0 m以内縦断流用

V	L	V * L		
49.6	9.34	463.26		
80.0	14.16	1,132.80		
64.0	11.57	740.48		
193.6		2,336.54	平均距離＝	12.1

2 0 m以上縦断流用

V	L	V * L		
37.4	31.89	1,192.69		
99.4	28.04	2,787.18		
4.3	20.63	88.71		
172.8	74.89	12,940.99		
82.4	151.11	12,451.46		
396.3		29,461.03	平均距離＝	74.3

純盛土運搬距離

V	L	V * L		
269.0	168.30	45,272.70		
269.0		45,272.70	平均距離＝	168.3

平均締固め係数計算

	礫質土	軟岩 I A
土量 V	501.9	557.4
変化率 C	0.90	1.00
$V \times C$	451.71	557.40

上記より平均の C は

$$\frac{V \times C}{V} = \frac{451.71}{501.9} + \frac{557.40}{557.40} = 0.95$$

$$\frac{1}{C} = 1.05$$

法面整形工計算書

測点	距離	法面整形(切土部)[左](1)		法面整形(切土部)[左](2)		法面整形(切土部)[右](1)		法面整形(切土部)[右](2)		法面整形 (盛土部)	
		幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)
自 : No. 81		3.22		5.81		1.00		2.14			
至 : No. 81+15.2	15.2	2.93	46.7		44.2		7.6		16.3	3.20	24.3
自 : No. 81+15.2		2.93								3.20	
至 : IP. 52	4.7	2.93	13.8							3.37	15.4
自 : IP. 52		2.93								3.37	
至 : No. 82	0.1	2.85	0.3							2.76	0.3
自 : No. 82		2.85								2.76	
至 : No. 82+5.0	5.0	2.85	14.3							2.50	13.2
自 : No. 82+5.0		2.85								2.50	
至 : No. 82+15.0	10.0		14.3							0.50	15.0
自 : No. 82+15.0										0.50	
至 : No. 83	5.0									0.59	2.7
自 : No. 83										0.59	
至 : No. 83+4.8	4.8									0.27	2.1
自 : No. 83+4.8										0.27	
至 : BC. 53	4.6									0.27	1.2
自 : BC. 53										0.27	
至 : MC. 53	7.1	7.35	26.1	0.53	1.9	0.41	1.5				1.0
自 : MC. 53		7.35		0.53		0.41					
至 : No. 84	3.6	1.78	16.4	0.33	1.5		0.7				
小計	60.1		131.9		47.6		9.8		16.3		75.2

法面整形工計算書

測点	距離	法面整形(切土部)[左](1)		法面整形(切土部)[左](2)		法面整形(切土部)[右](1)		法面整形(切土部)[右](2)		法面整形 (盛土部)	
		幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)
自 : No. 84		1.78		0.33							
至 : EC. 53	3.5	0.98	4.8	0.33	1.2	0.25	0.4				
自 : EC. 53		0.98		0.33		0.25					
至 : BC. 54	6.5	2.65	11.8	4.00	14.1	0.74	3.2	0.43	1.4		
自 : BC. 54		2.65		4.00		0.74		0.43			
至 : MC. 54	9.7	1.93	22.2	6.98	53.3	0.67	6.8	1.06	7.2		
自 : MC. 54		1.93		6.98		0.67		1.06			
至 : No. 85	0.2	2.12	0.4	6.91	1.4	0.74	0.1	1.05	0.2		
自 : No. 85		2.12		6.91		0.74		1.05			
至 : EC. 54	9.5	4.62	32.0	4.01	51.9		3.5		5.0		
自 : EC. 54		4.62		4.01							
至 : BC. 55	6.8	1.29	20.1		13.6						
自 : BC. 55		1.29									
至 : No. 86	3.7		2.4							1.42	2.6
自 : No. 86										1.42	
至 : MC. 55	7.7									1.02	9.4
自 : MC. 55										1.02	
至 : EC. 55	11.4	2.12	12.1	0.70	4.0						5.8
自 : EC. 55		2.12		0.70							
至 : No. 87	0.8	2.12	1.7	0.58	0.5						
小計	59.8		107.5		140.0		14.0		13.8		17.8

法面整形工計算書

測点	距離	法面整形(切土部)[左](1)		法面整形(切土部)[左](2)		法面整形(切土部)[右](1)		法面整形(切土部)[右](2)		法面整形 (盛土部)	
		幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)
自 : No. 87		2.12		0.58							
至 : BC. 56	5.7	1.95	11.6	1.58	6.2						
自 : BC. 56		1.95		1.58							
至 : MC. 56	5.2	1.35	8.6	1.20	7.2						
自 : MC. 56		1.35		1.20							
至 : EC. 56	5.2	1.22	6.7		3.1					8.37	21.8
自 : EC. 56		1.22								8.37	
至 : No. 88	3.9		2.4							5.15	26.4
自 : No. 88										5.15	
至 : BC. 57	3.8									5.61	20.4
自 : BC. 57										5.61	
至 : MC. 57	5.8									6.43	34.9
自 : MC. 57										6.43	
至 : EC. 57	5.8									6.94	38.8
自 : EC. 57										6.94	
至 : No. 89	4.7									6.88	32.5
自 : No. 89										6.88	
至 : NO. 90	20.0	5.21	52.1							4.79	116.7
小計	60.1		81.4		16.5						291.5
合計	180.0		320.8		204.1		23.8		30.1		384.5

法面工面積計算書

測点	距離	植生シート		植生マット		モルタル吹付					
		幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)
自 : No. 81				4.22		7.95					
至 : No. 81+15.2	15.2	3.20	24.3	2.93	54.3		60.4				
自 : No. 81+15.2		3.20		2.93							
至 : IP. 52	4.7	3.37	15.4	2.93	13.8						
自 : IP. 52		3.37		2.93							
至 : No. 82	0.1	2.76	0.3	2.85	0.3						
自 : No. 82		2.76		2.85							
至 : No. 82+5.0	5.0	2.50	13.2	2.85	14.3						
自 : No. 82+5.0		2.50		2.85							
至 : No. 82+15.0	10.0		12.5		14.3						
自 : No. 82+15.0											
至 : No. 83	5.0										
自 : No. 83											
至 : No. 83+4.8	4.8										
自 : No. 83+4.8											
至 : BC. 53	4.6										
自 : BC. 53											
至 : MC. 53	7.1			7.35	26.1						
自 : MC. 53				7.35							
至 : No. 84	3.6			1.78	16.4						
小計	60.1		65.7		139.5		60.4				

法面工面積計算書

測点	距離	植生シート		植生マット		モルタル吹付					
		幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)
自 : No. 84				1.78							
至 : EC. 53	3.5			0.98	4.8						
自 : EC. 53				0.98							
至 : BC. 54	6.5			2.65	11.8	4.00	13.0				
自 : BC. 54				2.65		4.00					
至 : MC. 54	9.7			1.93	22.2	6.98	53.3				
自 : MC. 54				1.93		6.98					
至 : No. 85	0.2			2.12	0.4	6.91	1.4				
自 : No. 85				2.12		6.91					
至 : EC. 54	9.5			4.62	32.0	4.01	51.9				
自 : EC. 54				4.62		4.01					
至 : BC. 55	6.8			1.29	20.1		13.6				
自 : BC. 55				1.29							
至 : No. 86	3.7	1.42	2.6		2.4						
自 : No. 86		1.42									
至 : MC. 55	7.7	1.02	9.4								
自 : MC. 55		1.02									
至 : EC. 55	11.4		5.8	2.12	12.1						
自 : EC. 55				2.12							
至 : No. 87	0.8			2.12	1.7						
小計	59.8		17.8		107.5		133.2				

法面工面積計算書

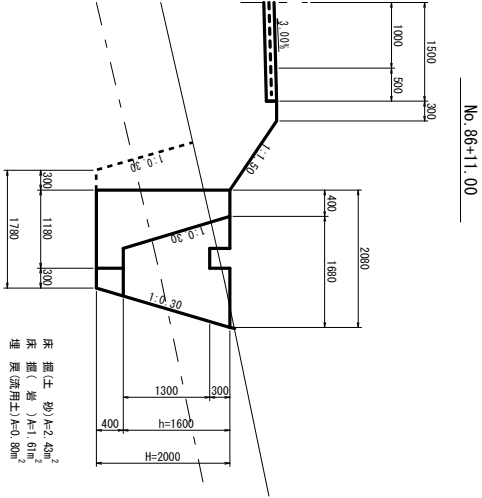
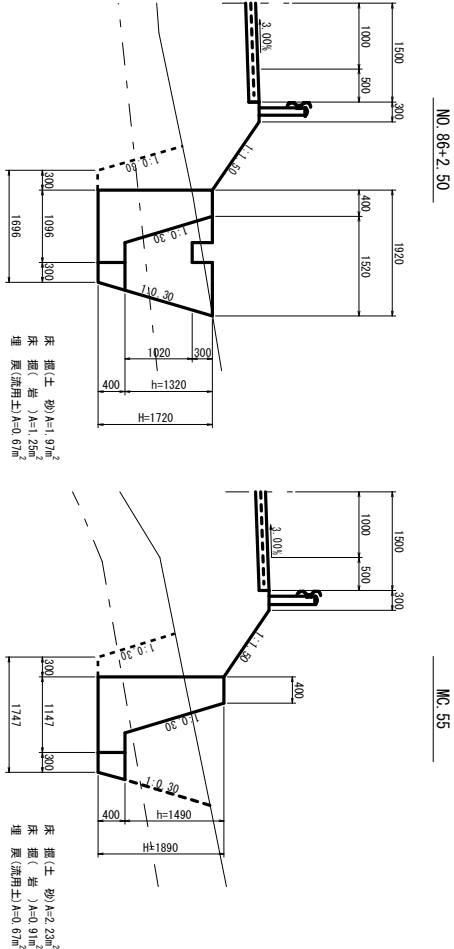
測点	距離	植生シート		植生マット		モルタル吹付					
		幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)	幅 (m)	面積 (m2)
自 : No. 87				2.12							
至 : BC. 56	5.7			1.95	11.6	1.58	4.5				
自 : BC. 56				1.95		1.58					
至 : MC. 56	5.2			1.35	8.6	1.20	7.2				
自 : MC. 56				1.35		1.20					
至 : EC. 56	5.2	8.37	21.8	1.22	6.7		3.1				
自 : EC. 56		8.37		1.22							
至 : No. 88	3.9	5.15	26.4		2.4						
自 : No. 88		5.15									
至 : BC. 57	3.8	5.61	20.4								
自 : BC. 57		5.61									
至 : MC. 57	5.8	6.43	34.9								
自 : MC. 57		6.43									
至 : EC. 57	5.8	6.94	38.8								
自 : EC. 57		6.94									
至 : No. 89	4.7	6.12	30.7								
自 : No. 89		6.12									
至 : NO. 90	20.0	4.79	109.1	5.21	52.1						
小計	60.1		282.1		81.4		14.8				
合計	180.0		365.6		328.4		208.4				

数量計算書						
種 別	重力式擁壁(1)	細 別 規 格	GW-1.5-1	単 位 数 量	1.0基 当り	
名 称	算 式				数 量	
床掘り(1) (礫質土)	V1 =	$1/2 \times (1.97 + 2.23) \times 6.660$	=	13.986	23.63 m ³	
	V2 =	$1/2 \times (2.23 + 2.43) \times 4.140$	=	9.646		
	計			= 23.632		
床掘り(2) (軟岩 I A)	V1 =	$1/2 \times (1.25 + 0.91) \times 6.660$	=	7.193	12.41 m ³	
	V2 =	$1/2 \times (0.91 + 1.61) \times 4.140$	=	5.216		
	計			= 12.409		
埋戻し(1) (流用土)	V1 =	$1/2 \times (0.67 + 0.67) \times 6.660$	=	4.462	7.51 m ³	
	V2 =	$1/2 \times (0.67 + 0.80) \times 4.140$	=	3.043		
	計			= 7.505		
コンクリート (18-8-40BB)	V1 =	$1/2 \times (1.228 + 1.388) \times 6.660$	=	8.711	14.44 m ³	
	V2 =	$1/2 \times (1.388 + 1.496) \times 4.140$	=	5.970		
	V3 =	$-1/4 \times 0.674^2 \times 3.14 \times 1/2 \times (0.55 + 0.82)$	=	-0.244		
	計			= 14.437		
埋戻しコンクリート (18-8-40BB)	A =	$1/2 \times (0.300 + 0.420) \times 0.400$	=	0.144	1.56 m ³	
	V =	0.144×10.800	=	1.555		
	Σ V =			= 16.000		
異形鉄筋 (SD295 D16)	L =	$(0.81 + 0.60) \times 43$	=	60.630	0.10 t	
	W =	$60.630 \times 1.56 / 1000$	=	0.095		

数量計算書

種 別	重力式擁壁(1)	細 別	GW-1.5-1	単 位	1.0基 当り
		規 格		数 量	
名 称	算 式				数 量

作業土工図

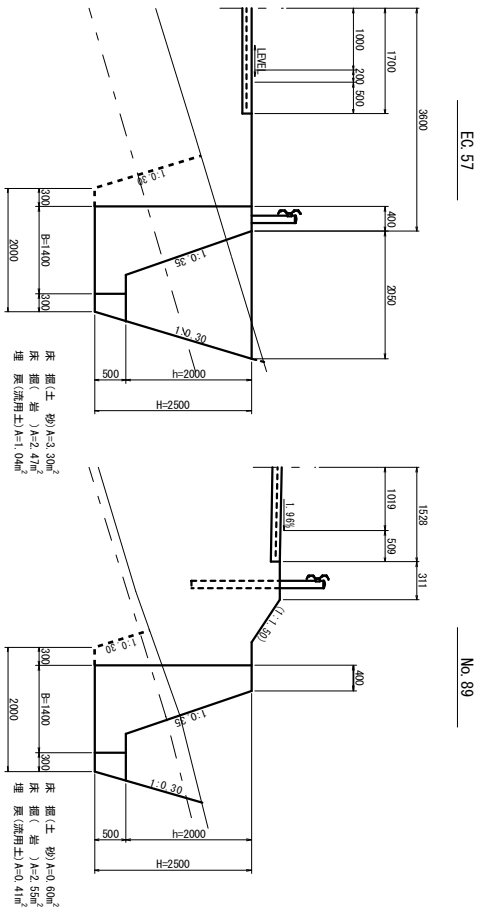


数量計算書							
種 別		重力式擁壁(2)		細 別 規 格	GW-1.5-1	単 位 数 量	1.0基 当り
名 称		算 式					数 量
床掘り(1) (礫質土)		V1 = 1/2 × (3.30 + 0.60) × 4.710 = 9.185					14.98 m3
		V2 = 1/2 × (0.60 + 3.26) × 3.000 = 5.790					
		計 = 14.975					
床掘り(2) (軟岩 1 A)		V1 = 1/2 × (2.47 + 2.55) × 4.710 = 11.822					20.99 m3
		V2 = 1/2 × (2.55 + 3.56) × 3.000 = 9.165					
		計 = 20.987					
埋戻し(1) (流用土)		V1 = 1/2 × (1.04 + 0.41) × 4.710 = 3.415					6.15 m3
		V2 = 1/2 × (0.41 + 1.41) × 3.000 = 2.730					
		計 = 6.145					
コンクリート (18-8-40BB)		V1 = 2.200 × 7.710 = 16.962					16.56 m3
		V2 = -1/4 × 0.788^2 × 3.14 × 1/2 × (0.66 + 1.00) = -0.405					
		計 = 16.557					
埋戻しコンクリート (18-8-40BB)		A = 1/2 × (0.300 + 0.450) × 0.500 = 0.188					1.45 m3
		V = 0.188 × 7.710 = 1.449					
		Σ V = 16.56 + 1.45 = 18.010					
異形鉄筋 (SD295 D16)		L = (0.92 + 0.60) × 30 = 45.600					0.07 t
		W = 45.600 × 1.56 / 1000 = 0.071					

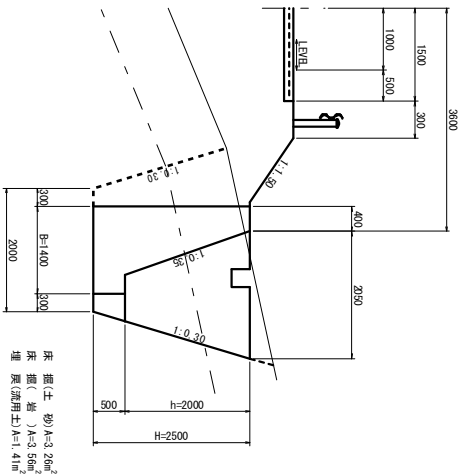
数量計算書

種 別	重力式擁壁(2)	細 別	GW-1.5-1	単位	1.0基 当り
		規格		数量	
名 称	算 式			数 量	

作業土工図



No. 89+3. 00



数量計算書					
種 別	側壁(1)	細 別 規 格	単 位 数 量	1.0基 当り	
名 称	算 式			数 量	
コンクリート (18-8-40BB)	型 枠 前面部	V1= 1/2×0.768×0.480	= 0.184	0.88 m3	
		V2= 0.768×0.420	= 0.323		
		V3= 0.644×0.300	= 0.193		
		V4= 1/2×0.768×0.480	= 0.184		
		計	= 0.884		
		A1= 1/2×1.608×0.480	= 0.386		
		A2= 1.608×0.420	= 0.675		
		A3= 1.306×0.300	= 0.392		
		A4= 1/2×1.608×0.480	= 0.386		
		計	= 1.839		
背面部	A1= 1/2×1.600×0.480	= 0.384			
	A2= 1.600×0.420	= 0.672			
	A3= 1.300×0.300	= 0.390			
	A4= 1/2×1.600×0.480	= 0.384			
排水部		計	= 1.830		
		A= 1/2×(0.400+0.430)×0.300×2	= 0.249		
		Σ A= 1.839+1.830+0.249	= 3.918		
				3.92 m2	

数量計算書						
種 別	側壁(2)	細 別	規 格	単 位	1.0基 当り	
名 称	算 式			数 量		
コンクリート (18-8-40BB)	V1=	1/2×0.615×0.400		=	0.123	0.65 m3
	V2=	0.615×0.420		=	0.258	
	V3=	0.491×0.300		=	0.147	
	V4=	1/2×0.615×0.400		=	0.123	
	計			=	0.651	
	A1=	1/2×1.327×0.400		=	0.265	
	A2=	1.327×0.420		=	0.557	
	A3=	1.025×0.300		=	0.308	
	A4=	1/2×1.327×0.400		=	0.265	
	計			=	1.395	
背面部	A1=	1/2×1.320×0.400		=	0.264	
	A2=	1.320×0.420		=	0.554	
	A3=	1.020×0.300		=	0.306	
	A4=	1/2×1.320×0.400		=	0.264	
計			=	1.388		
排水部	A=	1/2×(0.400+0.430)×0.300×2		=	0.249	3.03 m2
	Σ A=	1.395+1.388+0.249		=	3.032	

数量計算書									
種 別		側壁(3)	細 別	単 位		1.0基 当り			
			規 格	数 量					
名 称		算 式				数 量			
コンクリート (18-8-40BB)		V1 = 1/2 × 1.100 × 0.600				= 0.330	1.50 m3		
		V2 = 1.100 × 0.450				= 0.495			
		V3 = 0.973 × 0.300				= 0.292			
		V4 = 1/2 × 1.100 × 0.700				= 0.385			
		計				= 1.502			
		型 枠 前面部		A1 = 1/2 × 2.022 × 0.600				= 0.607	
				A2 = 2.022 × 0.450				= 0.910	
				A3 = 1.719 × 0.300				= 0.516	
				A4 = 1/2 × 2.022 × 0.700				= 0.708	
		背面部		計				= 2.741	
A1 = 1/2 × 2.000 × 0.600				= 0.600					
A2 = 2.000 × 0.450				= 0.900					
A3 = 1.700 × 0.300				= 0.510					
排水部		A4 = 1/2 × 2.000 × 0.700				= 0.700			
		計				= 2.710			
		A = 1/2 × (0.400+0.445) × 0.300 × 2				= 0.254			
		Σ A = 2.741 + 2.710 + 0.254				= 5.705			
						5.71 m2			

数量計算書					
種 別	側壁(4)	細 別 規 格	単 位 数 量	1.0基 当り	
名 称	算 式			数 量	
コンクリート (18-8-40BB)	V1=	1/2×1.100×0.600	=	0.330	1.54 m3
	V2=	1.100×0.750	=	0.825	
	V3=	1/2×1.100×0.700	=	0.385	
	計	=	1.540		
型 枠 前面型枠	A1=	1/2×2.022×0.600	=	0.607	
	A2=	2.022×0.750	=	1.517	
	A3=	1/2×2.022×0.700	=	0.708	
	計	=	2.832		
背面型枠	A1=	1/2×2.000×0.600	=	0.600	
	A2=	2.000×0.750	=	1.500	
	A3=	1/2×2.000×0.700	=	0.700	
	計	=	2.800		
Σ A= 2.832+2.800			=	5.632	5.63 m2

単 位 数 量 計 算 書

細別	補強土壁		1式 当り
規格			
名称	算式	単位	数量
壁面組立	$A = (\text{標準部} + \text{調整部}) \times \text{斜率}$ $A = 86.795 \times 1.005 = 87.23$	m2	87.23
補強材敷設	$L = \text{マット長総延長}$ $L = 312.50$	m	312.50
天端組立	$L = \text{天端延長}$ $\text{キャップバーS・トップカバーの設置含む}$ $L = 26.08$	m	26.08
基面整正	$A = 51.25$	m2	51.25
調整トップマットS(1)	$\phi 6.0 \times 5.0 - 200.0 \times 250.0$ 目 1800×2500	枚	7.00
調整トップマットS(2)	1800×3500	枚	4.00
調整トップマットS(3)	1800×4000	枚	2.00
ワイヤーマットS(1)	$\phi 6.0 \times 5.0 - 200.0 \times 250.0$ 目 1800×2500	枚	28.00
ワイヤーマットS(2)	1800×3000	枚	8.00
ワイヤーマットS(3)	1800×3500	枚	8.00
ワイヤーマットS(4)	1800×4000	枚	14.00
平マットS(1)	$\phi 6.0 \times 5.0 - 200.0 \times 250.0$ 目 1800×2500	枚	6.00
平マットS(2)	1800×3000	枚	8.00
平マットS(3)	1800×3500	枚	8.00
平マットS(4)	1800×4000	枚	7.00
バックマットS	$\phi 7.5 \times 5.0 - 100.0 \times 112.0$ 目 - 2000 × 560 $N = \text{標準部} + \text{調整部} + \text{端部折曲}$ $N = 65 + 23 + 1 = 89.00$	枚	89.00
ジ・オメッシュ根入	$\text{幅 } 650\text{mm} \quad \text{クアドラ10同等品以上}$ $L = \text{ジ・オメッシュ根入延長} + 1/2 \times 2.00 \times \text{折曲個所数}$ $L = (25.80 + 1/2 \times 2.00 \times 10) \times 1.05 = 37.59$	m	37.59
植生マット	$\text{幅 } 750\text{mm} \quad \text{不織布付}$ $L = \text{直壁面積} / 0.6 + 1/2 \times 2.00 \times \text{折曲個所数} - \text{根入延長}$ $L = (86.795 / 0.6 + 1/2 \times 2.00 \times 6 - 25.80) \times 1.05 = 131.10$	m	131.10

単 位 数 量 計 算 書

細別	補強土壁		1式 当り
規格			
名称	算式	単位	数量
キャップハ-S(1)	1分用 A型 L=760mm	組	39.00
キャップハ-S(2)	1分用 B型 L=1220mm	組	13.00
斜材S	1分用 L=720mm	組	174.00
トップカバー	鋼製 L=1.0m t=1.0mm L=調整部天端斜長		
	L= 27.00	本	27.00
TCタイ	トップカバー用結束バンド N=トップカバー数量+片側端部 N=26+1		
	= 27.00	本	27.00
暗渠集排水材	面状系 B=300 t=30 L= 19.00	m	19.00
土中集排水管	高密度ポリエチレン管 有孔管 φ150 (シングル) L=縦断方向+横断方向 L=26.00+4.00		
	= 30.00	m	30.00
暗渠排水管	高密度ポリエチレン管 無孔管 φ150 (シングル) L= 2.50	m	2.50
縦暗渠	650×500 単粒碎石S-20 L=0.60×最下段段差個所数 L=0.60×9=5.40 V=5.40×0.65×0.50		
	= 1.76	m3	1.76
名称	算式	単位	数量
水平排水材	B=300 t=10 L= 53.50	m	53.50

部 材 数 量 総 括 表

①ワイヤーロープ60工 (メッキ品)

項 目	形 状 寸 法	単位	数 量	備 考
調整トツヅマツトS	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 2500	枚	7	
	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 3500	枚	4	
	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 4000	枚	2	
ワイヤーマツトS	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 2500	枚	28	
	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 3000	枚	8	
	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 3500	枚	8	
	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 4000	枚	14	
平マツトS	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 2500	枚	6	
	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 3000	枚	8	
	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 3500	枚	8	
	6.0*5.0 -200*250目- 1800 * 4000	枚	7	
バツクマツトS	7.5*5.0 -100*112目- 2000 * 560	枚	89	
ジオメツジュ根入れ部	幅 650mm	m	37.59	
植生マツト	幅 750mm 不織布付き	m	131.10	
キャツヅバーS	1分用 A 型	組	39	
	1分用 B 型	組	13	
斜材S	1分用	組	174	
トツヅカバー	鋼製 L=1.0m, t=1mm	本	27	
TCタイ	トツヅカバー用結束バンド	本	27	
床拵工		m ²	51.25	
施工歩掛	壁面組立工	m ²	87.23	
	補強材敷設工	m	312.50	
	天端組立工	m	26.08	

②暗渠排水工

項 目	形 状 寸 法	単位	数 量	備 考
暗渠集排水材	B=300 t=30	m	19.00	
土中集排水管	高密度ポリエチレン有孔管 φ150	m	30.00	
排出管	高密度ポリエチレン無孔管 φ150	m	2.50	
縦暗渠工	幅0.65m, 厚0.50m	m	5.40	

③水平排水材

項 目	形 状 寸 法	単位	数 量	備 考
水平排水材	B=300 t=10	m	53.5	

数量計算書				
名 称	算 定 式	単 位	数 量	
バックマツト	標準部枚数＋調整部（天端）枚数＋調整部折曲枚数 65＋23＋1	枚	89	89
ジオメツシュ根入	ジオメツシュ根入延長＋1/2×2.000×折曲個所数（ロス率1.05を考慮すること） (25.800＋1/2×2.000×10)×1.05	m	37.590	37.59
壁面積（正面部）	標準部面積＋調整部（天端）面積 68.760＋18.035	m ²	86.795	86.80
壁面積（小口部）		m ²		
壁面積（直面積）	正面部面積＋小口部面積	m ²	86.795	86.80
植生マツト	直壁面積/0.60＋1/2×2.000×折曲個所数－根入延長（ロス率1.05を考慮すること） (86.795/0.60＋1/2×2.000×6－25.800)×1.05	m	131.101	131.10
トツヅカバー	調整部天端斜長（ロス率1.05を考慮すること） 25.826×1.05	本	27.117	27
TCタイ	トツヅカバー数量＋1 26＋1	本	27	27
壁面組立工	正面部直壁面積×斜率（＝1.005） 86.795×1.005	m ²	87.229	87.23
補強材敷設工	マツト長総延長 312.500	m	312.500	312.50
天端組立工	天端延長（小口延長を含む） 26.080	m	26.080	26.08

列 番	1	2	3	4	5	6	7	M 7	8	M 8	9	M 9	10	M 10	11	M 11	12	13		合計
壁 高 (m)	1.200	1.800	1.800	2.400	2.400	2.400	3.000	3.600	3.600	4.200	4.200	4.200	4.200	4.200	3.600	3.600	3.000	1.200		
TYPE 記号	TYPE 3	TYPE 3	TYPE 3	TYPE 3	TYPE 3	TYPE 3	TYPE 2	平マット列	TYPE 2	平マット列	TYPE 1	平マット列	TYPE 1	平マット列	TYPE 2	平マット列	TYPE 2	TYPE 3		
列 幅 (m)	(上端)	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000		2.000		2.000		1.800		2.000		2.000	2.000		25.800
	(下端)	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000		2.000		2.000		1.800		2.000		2.000	2.000		25.800
	(平均)	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000		2.000		2.000		1.800		2.000		2.000	2.000		25.800
壁面積 (㎡)		2.400	3.600	3.600	4.800	4.800	4.800	6.000	7.200		8.400		7.560		7.200		6.000	2.400	標準部	68.760
調整高 (m)	(左端)	0.500	0.592	0.661	0.722	0.782	0.833	0.862	0.821		0.778		0.715		0.593		0.457	0.921	小口部	
	(右端)	0.592	0.661	0.722	0.782	0.833	0.862	0.821	0.778		0.715		0.593		0.457		0.321	0.785		
	(平均)	0.546	0.627	0.692	0.752	0.808	0.848	0.842	0.800		0.747		0.654		0.525		0.389	0.853		
調整部 面積 (㎡)		1.092	1.254	1.384	1.504	1.616	1.696	1.684	1.600		1.494		1.177		1.050		0.778	1.706	調整部	18.035
マ ッ ト 配 置																				
		A60-2.5	A60-2.5	A60-2.5	A60-2.5	A60-2.5	A60-2.5	A60-3.5	A60-3.5		A60-4.0		A60-4.0		A60-3.5		A60-3.5			
		W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5	W60-3.5	W60-3.5	W60-3.5	W60-4.0	W60-4.0	W60-4.0	W60-3.5	W60-3.5	W60-3.5	W60-3.5	A60-2.5		13
		W60-2.5G	W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5	W60-3.5	W60-3.5	W60-3.5	W60-4.0	W60-4.0	W60-4.0	W60-3.5	W60-3.5	W60-3.5	W60-3.5	W60-2.5		14
			W60-2.5G	W60-2.5G	W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5	W60-3.0	W60-3.0	W60-3.0	W60-4.0	W60-4.0	W60-4.0	W60-3.0	W60-3.0	W60-3.0	W60-3.0	W60-2.5G		13
					W60-2.5G	W60-2.5G	W60-2.5G	W60-3.0	W60-3.0	W60-3.0	W60-4.0	W60-4.0	W60-4.0	W60-3.0	W60-3.0	W60-3.0	W60-3.0			10
								W60-2.5G	W60-2.5	W60-2.5	W60-4.0	W60-4.0	W60-4.0	W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5	W60-2.5G			7
									W60-2.5G	W60-2.5	W60-4.0	W60-4.0	W60-4.0	W60-2.5	W60-2.5G	W60-2.5				5
											W60-4.0G	W60-4.0	W60-4.0G							3
バックマット 枚数	標準部																			65
	調整部	1	2	2	2	2	2	2	2		2		2		1		1	2		23
標準部 マット 枚数	標準幅	2	3	3	4	4	4	5	5	6	6	7	7	7	6	6	5	5	2	87
	ハーフ																			
斜材 本数	1分用	6	9	9	12	12	12	15		18		21		21		18		15	6	174
植生部折曲箇所	2																			6
ジオマッシュ根入段数	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1		1		1		1	1		13
ジオマッシュ根入延長	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000		2.000		1.800		2.000		2.000	2.000		25.800
ジオマッシュ折曲箇所	1	1		1			1		1		1		1		1		1	1		10
キャップバ-本数 (1分用)	A 型	3	3	3	3	3	3	3	3		3		3		3		3	3		39
	B 型					2	3	3	2									3		13
	C 型																			
	D 型																			
マット長総延長 (m)	7.5	10.0	10.0	12.5	12.5	12.5	19.0	15.5	21.5	18.0	32.0	28.0	32.0	18.0	21.5	15.5	19.0	7.5		312.500
基礎段差 折曲箇所		-1		-1			-1		-1		-1				+1		+1	+2		
		+3	+1		+1		+1		+1		+1		+1		+1		+2	+4		
標準部敷高 (m)	590.590	589.990	589.990	589.390	589.390	589.390	588.790		588.190		587.590		587.590		588.190		588.790	589.990		
調整部敷高 (m)	591.790	591.790	591.790	591.790	591.790	591.790	591.790		591.790		591.790		591.790		591.790		591.790	591.190		
天端延長 (m)	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000		2.000		2.000		1.800		2.000		2.000	2.000		25.800
調整部天端斜長 (m)	2.002	2.001	2.001	2.001	2.001	2.001	2.000		2.000		2.001		1.804		2.005		2.005	2.005		25.826
天端高 (m)	592.336	592.417	592.482	592.542	592.598	592.638	592.632		592.590		592.537		592.444		592.315		592.179	592.043		
天端高左	592.290	592.382	592.451	592.512	592.572	592.623	592.652		592.611		592.568		592.505		592.383		592.247	592.111		
天端高右	592.382	592.451	592.512	592.572	592.623	592.652	592.611		592.568		592.505		592.383		592.247		592.111	591.975		
最下段マット長 (m)	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500		2.500		4.000		4.000		2.500		2.500	2.500		35.500
床土工 面積 (㎡)	3.700	3.700	3.700	3.700	3.700	3.700	3.700		3.700		4.523		6.030		3.700		3.700	3.700		51.253
最下段列幅 (m)	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000		2.000		2.000		1.800		2.000		2.000	2.000		
延長方向暗渠部控除幅 (m)											0.65									
最下段マット長 (m)	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500		2.500		4.000		4.000		2.500		2.500	2.500		
長さ方向暗渠部控除幅 (m)	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65		0.65		0.65		0.65		0.65		0.65	0.65		

[illegible]

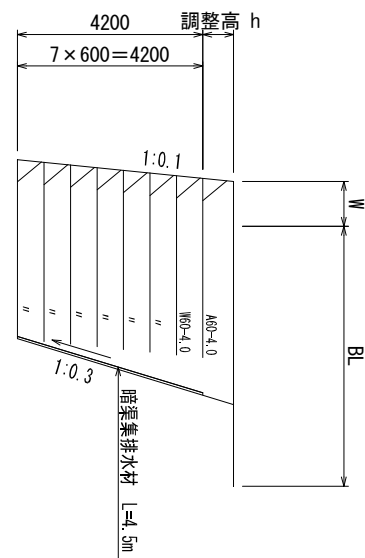
[illegible]

[illegible]

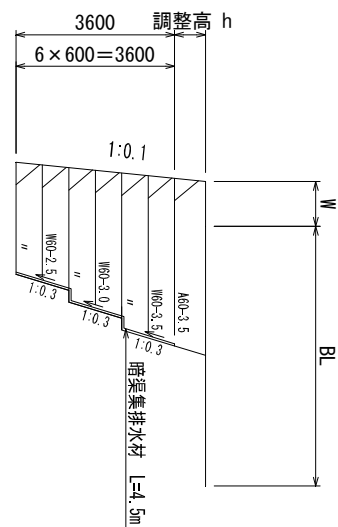
土 量 計 算 書

列番		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		合計	
壁高 (m)		1.200	1.800	1.800	2.400	2.400	2.400	3.000	3.600	4.200	4.200	3.600	3.000	1.200			
TYPE 記号		TYPE 3	TYPE 3	TYPE 3	TYPE 3	TYPE 3	TYPE 3	TYPE 2	TYPE 2	TYPE 1	TYPE 1	TYPE 2	TYPE 2	TYPE 3			
延長 (m)	(上端)		2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	1.800	2.000	2.000	2.000			
	(下端)		2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	1.800	2.000	2.000	2.000			
	(平均)	①	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	2.000	1.800	2.000	2.000	2.000			
標準部 壁面積 (㎡)	②	2.400	3.600	3.600	4.800	4.800	4.800	6.000	7.200	8.400	7.560	7.200	6.000	2.400			
調整高 (m)	(左端)		0.500	0.592	0.661	0.722	0.782	0.833	0.862	0.821	0.778	0.715	0.593	0.457	0.921		
	(右端)		0.592	0.661	0.722	0.782	0.833	0.862	0.821	0.778	0.715	0.593	0.457	0.321	0.785		
	(平均)		0.546	0.627	0.692	0.752	0.808	0.848	0.842	0.800	0.747	0.654	0.525	0.389	0.853		
調整部 壁面積 (㎡)	③	1.092	1.254	1.384	1.504	1.616	1.696	1.684	1.600	1.494	1.177	1.050	0.778	1.706			
各段補強材長 (m)																	
			2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	3.500	3.500	4.000	4.000	3.500	3.500			
			2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	3.500	3.500	4.000	4.000	3.500	3.500	2.500		
			2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	3.500	3.500	4.000	4.000	3.500	3.500	2.500		
				2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	3.000	3.000	4.000	4.000	3.000	3.000	2.500		
						2.500	2.500	2.500	3.000	3.000	4.000	4.000	3.000	3.000			
									2.500	2.500	4.000	4.000	2.500	2.500			
										2.500	4.000	4.000	2.500				
											4.000	4.000					
△H= 0.60		④															
補強材長合計 (m)	標準部	⑤	5.000	7.500	7.500	10.000	10.000	10.000	15.500	18.000	28.000	28.000	18.000	15.500	5.000		
	調整部	⑥	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	3.500	3.500	4.000	4.000	3.500	3.500	2.500		
標準マット枚数(枚)		⑦	2	3	3	4	4	4	5	6	7	7	6	5	2		
壁背面1m部土量 (m³)	標準部 ②×1		2.400	3.600	3.600	4.800	4.800	4.800	6.000	7.200	8.400	7.560	7.200	6.000	2.400		86.795
	調整部 ③×1		1.092	1.254	1.384	1.504	1.616	1.696	1.684	1.600	1.494	1.177	1.050	0.778	1.706		
	合計	⑧	3.492	4.854	4.984	6.304	6.416	6.496	7.684	8.800	9.894	8.737	8.250	6.778	4.106		
盛土工B (m³)	標準部①×④×(⑤-⑦×1)																
	調整部③×(⑥-1)																
	合計	⑨															
盛土工C (m³)	標準部①×④×(⑤-⑦×1)		3.600	5.400	5.400	7.200	7.200	7.200	12.600	14.400	25.200	22.680	14.400	12.600	3.600		
	調整部③×(⑥-1)		1.638	1.881	2.076	2.256	2.424	2.544	4.210	4.000	4.482	3.531	2.625	1.945	2.559		
	合計	⑩	5.238	7.281	7.476	9.456	9.624	9.744	16.810	18.400	29.682	26.211	17.025	14.545	6.159		
合計土量(m³) ⑧+⑨+⑩			8.730	12.135	12.460	15.760	16.040	16.240	24.494	27.200	39.576	34.948	25.275	21.323	10.265	264.446	

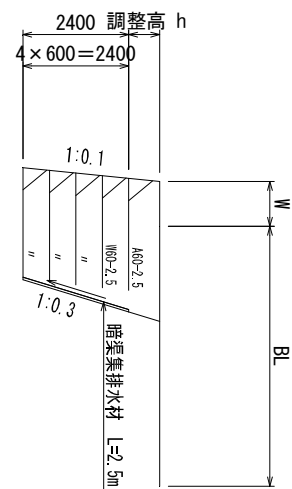
TYPE-1
(H=4.0m)



TYPE-2
(H=3.0m)



TYPE-3
(H=2.40m~0.60m)



地下排水工

(1) 暗渠集排水材 (B=300, t=30)
ヶ所数 (5m間隔に1ヶ所) N1 = 6 ヶ所

TYPE区間	長さ	ヶ所	延長(m)
TYPE-1	4.50		0.00
TYPE-2	4.50	2	9.00
TYPE-3	2.50	4	10.00
		延長 合計 L=	19.00

(2) 土中集排水管 (高密度ポリエチレン有孔管φ150)

1)延長方向 L1 = 26.000 m

2)横断方向
横断ヶ所 N1 = 1ヶ所
1ヶ所当たり L2 = 4.00 m
L2 = 4.00 * N1
= 4.00 m
横断ヶ所 N2 = 0ヶ所
1ヶ所当たり L3 = 0.00 m
L3 = 0.00 * N2
= 0.00 m
合計 L = L1 + L2 + L3
= 26.00 + 4.00 + 0.00
= 30.00 m

土中集排水管暗渠工 (10m当り数量)

・防水シート (t=0.1)
幅 w = 0.075 * 1.044 * 2 + 0.350 = 0.507
面積 a = L * w
= 10.00 * 0.507
= 5.07 m²

・吸出し防止材 (t=10)
幅 w = 0.500 * 1.044 * 2 + 0.650 = 1.694
面積 a = L * w
= 10.00 * 1.694
= 16.94 m²

・単粒碎石 (20mm)
断面積 a1 = 1/2 * (0.650+0.350) * 0.500 - 1/4 * π*0.150*0.0.232
面積 V1 = L1 * a1
= 10.00 * 0.232
= 2.32 m³

(3) 排出管 (高密度ポリエチレン無孔管φ150)
横断ヶ所 N1 = 1ヶ所
1ヶ所当たり L4 = 2.50 m
L = 14 * N1
= 14 * 1
= 2.50 m

(4) 縦暗渠工

延長 L2 = 0.600 * 最下段段差ヶ所数
= 0.600 * 9
= 5.40 m
縦暗渠工 (10m当り数量)
・単粒碎石 (20mm)
断面積 a2 = (0.650*0.500) * 0.325
面積 V2 = L * a2
= 10.00 * 0.325
= 3.25 m³

水平排水材 (B=300 t=10)

水平排水材延長 = 箇所数 × 長さ

列番号	箇所数	長さ	水平排水材延長
1	1	2.500	2.500
2	1	2.500	2.500
3	1	2.500	2.500
4	1	2.500	2.500
5	1	2.500	2.500
6	1	2.500	2.500
7	1	3.500	3.500
8	1	3.500	3.500
8	1	3.000	3.000
9～10	4	4.000	16.000
11	1	3.500	3.500
11	1	3.000	3.000
12	1	3.500	3.500
13	1	2.500	2.500
合 計			53.500

TYPE別ネット配置表(1)

TYPE	TYPE 1			TYPE 2			TYPE 3			TYPE 4		
壁高	H= 4.20m			H= 3.60m ~3.00m			H= 2.40m ~0.60m			H=		
	径	長さ	本数	径	長さ	本数	径	長さ	本数	径	長さ	本数
上段からの配置	60	40	8	60	35	3	60	2.5	5			
				60	30	2						
				60	2.5	2						
			8			7			5			

数量計算書								
種 別	自由勾配横断溝	細 別	B300×H350型(1=0%)	単 位	1.0箇所 当り	数 量		
		規 格		数 量				
名 称	算 式			数 量				
縦断勾配付横断側溝 (B300×H550型)								
	グレーチング蓋(T-25 300用)含む L= 3.20		=	3.200	3.20 m			
底版コンクリート (18-8-25BB)	V= 0.03×3.20		=	0.096	0.10 m ³			
敷モルタル (1:3BB)	V= 0.54×0.03×3.20		=	0.052	0.05 m ³			
均しコンクリート (18-8-40BB)	V= 0.74×0.10×2.75		=	0.204	0.20 m ³			
同上型砕	A= 0.10×2.75×2		=	0.550	0.55 m ²			
基礎砕石 (RC-40)	A= 0.74×2.75		=	2.035	2.04 m ²			
床掘り(1) (礫質土)	V= 0.45×0.450+0.70×0.348+0.70/2×1.157		=	0.851	0.85 m ³			
埋戻し(1) (流用土)	V= 0.12×0.450+0.22×0.348+0.22/2×1.157		=	0.258	0.26 m ³			
基面整正	A= 0.54×0.450		=	0.243	0.24 m ²			

数量計算書

種 別	横断暗きよ(1)	細 別	耐圧ポリエチレンリゾ管 φ 600 R30	単 位	1.0式 当り
		規 格		数 量	
名 称	算 式				数 量
基面整正	A=	1.20 × 1.70	=	2.040	2.04 m ²
基床材 (良質土)	V=	1/2 × (1.60+1.20) × 0.20 × 6.78	=	1.898	1.90 m ³
裏込材 (良質土)	V=	(1/2 × (1.80+3.184) × 0.674-0.674 × 0.674 × π/4) × 6.68	=	8.838	8.84 m ³
被覆材 (良質土)	V=	1/2 × (0.60+1.80) × 0.60 × 6.61	=	4.759	4.76 m ³
耐圧ポリエチレンリゾ管 (φ 600 R30)	L=	7.50	=	7.500	7.50 m
床掘り(1) (礫質土)	V=	2.68 × 1.700	=	4.556	4.56 m ³
床掘り(2) (軟岩 I A)	V=	0.11 × 1.700	=	0.187	0.19 m ³
埋戻し(1) (流用土)	V=	0.62 × 1.700	=	1.054	1.05 m ³

数量計算書

種 別		横断暗きよ(2)		細 別	耐圧ポリエチレンパイプ φ 700 R30		単 位	1.0式 当り		
				規 格			数 量			
名 称		算 式					数 量			
基面整正		A= 1.60 × (3.39+1.21)					= 7.360	7.36 m ²		
基床材 (良質土)		V= 1/2 × (2.00+1.60) × 0.20 × 8.21					= 2.956	2.96 m ³		
裏込材 (良質土)		V= (1/2 × (2.40+4.228) × 0.788-0.788 × 0.788 × π/4) × 8.21					= 17.438	17.44 m ³		
被覆材 (良質土)		V= 1/2 × (1.20+2.40) × 0.60 × 7.27					= 7.852	7.85 m ³		
耐圧ポリエチレンパイプ (φ 700 R30)		L= 9.00					= 9.000	9.00 m		
床掘り(1) (礫質土)		V= 0.84 × 1.210+0.36 × 3.390					= 2.237	2.24 m ³		
床掘り(2) (軟岩 I A)		V= 0.79 × 1.210					= 0.956	0.96 m ³		
埋戻し(1) (流用土)		V= 0.10 × 1.210					= 0.121	0.12 m ³		

数量計算書						
種 別	吐 口	細 別 規 格	18-8-25BB	単 位 数 量	1.0基 当り	
名 称	算 式				数 量	
コンクリート (18-8-25BB)	V1=	1.20×0.15×1.30	=	0.234	0.58 m ³	
	V2=	1.50×0.10×1.30	=	0.195		
	V3=	1/2×1.00×1.50×0.15×2	=	0.225		
	V4=	-(0.788×0.788×π/4)×0.15	=	-0.073		
	計			=	0.581	
同上型枠	A1=	1.20×0.15×2	=	0.360	5.51 m ²	
	A2=	1.50×0.10×2	=	0.300		
	A3=	1.30×0.10	=	0.130		
	A4=	1.10×1.00+0.15×0.10×2	=	1.130		
	A5=	1.20×1.30	=	1.560		
	A6=	1/2×1.00×1.50×4	=	3.000		
	A7=	-(0.788×0.788×π/4)×2	=	-0.975		
	計			=	5.505	
樹脂発泡体目地 (t=10mm)	A=	0.788×π×0.15	=	0.371	0.37 m ²	
基礎碎石 (RC-40)	A=	1.50×1.75	=	2.625	2.63 m ²	

数量計算書						
種 別	現場打集水桝(1)	細 別 規 格	18-8-25BB	単 位 数 量	1.0基 当り	
名 称	算 式				数 量	
コンクリート (18-8-25BB)	V1=	$0.74 \times 0.77 \times 0.62$		=	0.353	0.22 m ³
	V2=	$-0.50 \times 0.50 \times 0.50$		=	-0.125	
	V3=	$-0.30 \times 0.30 \times 0.12$		=	-0.011	
	計			=	0.217	
同上型枠	A1=	$(0.74+0.77) \times 2 \times 0.62$		=	1.872	2.76 m ²
	A2=	$(0.50+0.50) \times 2 \times 0.50$		=	1.000	
	A3=	$0.12 \times 0.30 \times 2$		=	0.072	
	A4=	$-0.30 \times 0.30 \times 2$		=	-0.180	
基礎砕石 (RC-40)	計			=	2.764	0.73 m ²
	A=	0.87×0.84		=	0.731	

数量計算書						
種 別	現場打集水桝(2)	細 別 規 格	18-8-25BB	単 位 数 量	1.0基 当り	
名 称	算 式			数 量		
コンクリート (18-8-25BB)	V1=	1/2 × (1.05+0.825) × 0.75 × 1.08		=	0.759	0.41 m ³
	V2=	-1/2 × (0.60 × 0.60+0.90 × 0.84) × 0.60		=	-0.335	
	V3=	-1/2 × (0.15+0.203) × 0.265 × 0.30		=	-0.014	
	計		=	0.410		
同上型桝	A1=	1/2 × (1.05+0.825) × 0.75 × 2		=	1.406	3.51 m ²
	A2=	1/2 × (0.90+0.60) × 0.60 × 2 × 1.020		=	0.918	
	A3=	1/2 × (0.84+0.60) × 0.60 × 1.020		=	0.441	
	A4=	1.08 × 0.75		=	0.810	
	A5=	1/2 × (0.15+0.203) × 0.265 × 2		=	0.094	
	A6=	-0.30 × 0.265 × 1.020		=	-0.081	
	A7=	-0.30 × 0.265		=	-0.080	
計		=	3.508			
床掘り(1) (礫質土)	V=	0.27 × 1/2 × (2.13+1.68)		=	0.514	0.51 m ³
床掘り(2) (軟岩 I A)	V=	0.50 × 1/2 × (2.13+1.68)		=	0.953	0.95 m ³
埋戻し(1) (流用土)	V=	0.07 × 1/2 × (2.13+1.68)		=	0.133	0.13 m ³
基面整正	A=	0.825 × 1.08		=	0.891	0.89 m ²

舗装準備工面積計算書

不陸整正

測点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (m2)	測点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (m2)
自 : No. 79+15.0		3.00		自 :			
至 : IP. 51	11.5	3.00	34.5	至 :			
自 : IP. 51		3.00		自 :			
至 : No. 81	13.5	3.00	40.5	至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
合計	25.0		75.0	小計			

コンクリート路面工面積計算書

コンクリート路面 (1) 溶接金網無

コンクリート路面 (2) 溶接金網有

測点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (m2)	測点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (m2)
自 : IP. 51+7. 0		3. 00		自 : No. 79+15. 0		3. 00	
至 : No. 81	6. 5	3. 00	19. 5	至 : IP. 51	11. 5	3. 00	34. 5
自 :				自 : IP. 51		3. 00	
至 :				至 : IP. 51+7. 0	7. 0	3. 00	21. 0
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
小計	6. 5		19. 5	小計	18. 5		55. 5

立木伐採集積費集計表

(単位:円)													根株重量(t)		根株重量(t)		根株重量(t)		根株重量(t)	
胸高直径 cm	スギ			ヒノキ			マツ			雑木			スギ		ヒノキ		マツ		雑木	
	本数	単価	小計	本数	単価	小計	本数	単価	小計	本数	単価	小計	体積(m3)	重量(t)	体積(m3)	重量(t)	体積(m3)	重量(t)	体積(m3)	重量(t)
5	0			0			0			3			0.010	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.008	0.02
6	0			1			0			7			0.014	0.00	0.014	0.01	0.02	0.00	0.011	0.06
7	0			0			0			4			0.018	0.00	0.018	0.00	0.02	0.00	0.014	0.04
8	0			3			0			15			0.022	0.00	0.023	0.06	0.03	0.00	0.018	0.22
9	0			1			0			7			0.027	0.00	0.029	0.02	0.03	0.00	0.022	0.12
10	2			4			0			6			0.033	0.05	0.036	0.12	0.04	0.00	0.026	0.12
11	0			1			0			4			0.038	0.00	0.043	0.03	0.04	0.00	0.031	0.10
12	0			7			0			5			0.045	0.00	0.051	0.29	0.05	0.00	0.036	0.14
13	1			8			0			3			0.051	0.04	0.059	0.38	0.06	0.00	0.041	0.10
14	1			11			0			0			0.058	0.05	0.068	0.60	0.07	0.00	0.046	0.00
15	3			7			0			4			0.066	0.16	0.077	0.43	0.07	0.00	0.052	0.17
16	5			12			0			2			0.073	0.29	0.087	0.84	0.08	0.00	0.058	0.09
17	0			10			0			1			0.081	0.00	0.098	0.78	0.09	0.00	0.064	0.05
18	10			12			0			4			0.090	0.72	0.109	1.05	0.10	0.00	0.071	0.23
19	3			13			0			0			0.099	0.24	0.121	1.26	0.11	0.00	0.078	0.00
20	9			10			0			2			0.108	0.78	0.133	1.06	0.12	0.00	0.085	0.14
21	6			5			0			3			0.117	0.56	0.146	0.58	0.13	0.00	0.092	0.22
22	12			5			0			1			0.127	1.22	0.16	0.64	0.15	0.00	0.1	0.08
23	10			3			0			0			0.137	1.10	0.174	0.42	0.16	0.00	0.108	0.00
24	8			4			0			0			0.148	0.95	0.189	0.60	0.17	0.00	0.116	0.00
25	7			2			0			1			0.158	0.88	0.204	0.33	0.18	0.00	0.125	0.10
26	8			2			0			3			0.169	1.08	0.22	0.35	0.20	0.00	0.133	0.32
27	6			1			0			0			0.181	0.87	0.236	0.19	0.21	0.00	0.142	0.00
28	5			0			0			1			0.192	0.77	0.253	0.00	0.22	0.00	0.151	0.12
29	2			0			0			0			0.204	0.33	0.271	0.00	0.24	0.00	0.161	0.00
30	6			2			0			3			0.217	1.04	0.289	0.46	0.25	0.00	0.17	0.41
31	4			0			0			0			0.229	0.73	0.307	0.00	0.27	0.00	0.18	0.00
32	4			1			0			0			0.242	0.77	0.326	0.26	0.28	0.00	0.19	0.00
33	3			0			0			5			0.255	0.61	0.346	0.00	0.30	0.00	0.2	0.80
34	7			1			0			0			0.269	1.51	0.366	0.29	0.31	0.00	0.211	0.00
35	3			0			0			0			0.283	0.68	0.387	0.00	0.33	0.00	0.221	0.00
36	3			0			0			0			0.297	0.71	0.408	0.00	0.35	0.00	0.232	0.00
37	2			0			0			1			0.311	0.50	0.43	0.00	0.36	0.00	0.243	0.19
38	2			1			0			0			0.326	0.52	0.452	0.36	0.38	0.00	0.255	0.00
39	2			0			0			1			0.341	0.55	0.475	0.00	0.40	0.00	0.266	0.21
40	1			0			0			0			0.356	0.28	0.499	0.00	0.42	0.00	0.278	0.00
41	0			0			0			0			0.371	0.00	0.523	0.00	0.44	0.00	0.29	0.00
42	1			0			0			0			0.387	0.31	0.547	0.00	0.46	0.00	0.302	0.00
43	0			0			0			1			0.403	0.00	0.572	0.00	0.47	0.00	0.315	0.25
44	3			0			0			0			0.419	1.01	0.598	0.00	0.49	0.00	0.327	0.00
45	0			0			0			0			0.436	0.00	0.624	0.00	0.51	0.00	0.34	0.00
46	0			0			0			0			0.453	0.00	0.65	0.00	0.53	0.00	0.353	0.00
47	0			0			1			0			0.470	0.00	0.678	0.00	0.55	0.44	0.366	0.00
48	0			0			0			0			0.487	0.00	0.705	0.00	0.58	0.00	0.38	0.00
49	0			0			0			0			0.505	0.00	0.733	0.00	0.60	0.00	0.394	0.00
50	0			0			0			1			0.523	0.00	0.762	0.00	0.62	0.00	0.407	0.33
51	0			0			0			0			0.541	0.00	0.791	0.00	0.64	0.00	0.421	0.00
52	0			0			0			0			0.559	0.00	0.821	0.00	0.66	0.00	0.436	0.00
53	0			0			0			0			0.578	0.00	0.852	0.00	0.69	0.00	0.45	0.00
54	0			0			0			0			0.597	0.00	0.882	0.00	0.71	0.00	0.465	0.00
55	0			0			0			0			0.616	0.00	0.914	0.00	0.73	0.00	0.479	0.00
56	0			0			0			0			0.636	0.00	0.946	0.00	0.75	0.00	0.494	0.00
57	0			0			0			0			0.655	0.00	0.978	0.00	0.78	0.00	0.51	0.00
58	0			0			0			0			0.675	0.00	1.011	0.00	0.80	0.00	0.525	0.00
59	0			0			0			0			0.695	0.00	1.044	0.00	0.83	0.00	0.54	0.00
60	0			0			0			1			0.716	0.00	1.078	0.00	0.85	0.00	0.556	0.44
61cm以上加算額	0			0			0			0			0.737	0.00	1.112	0.00	0.88	0.00	0.572	0.00
計	139			127			1			89			19.31		11.41		0.44		5.07	

合 計	本数	伐採集積費
	356	

36.23 t

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
仕 様 関 係	☒ 共通の仕様	☒ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）は、三重県公共工事共通仕様書に優先する。 ☒ 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和5年11月1日）） ☒ 本市が制定する要綱及び規則等に準拠するとともに監督員の指示により執行すること。 ☒ 「施工プロセス」のチェックリストを活用し、津市工事請負契約約款、設計図書及び三重県公共工事共通仕様書等に基づき、施工・手続き等が適切に実施されていることを常に監督員と共有し、確認すること。 ☒ 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン(平成3 1年3月）（一部改正：令和2年4月）を参考とする。 ☐ 「土木構造物設計マニュアル（案）編」を適用
	☐ 公園工事の仕様	☐ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事共通仕様書（令和5年5月）に準ずること。 ☐ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事施工管理基準（令和3年7月）に準ずること。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
工 程 関 係	☐ 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名： ）	☐ 調整項目（ ☐ 資材等の流用 ☐ 仮設及び工事用道路等の調整 ☐ 建設機械等の調整 ☐ 施工順序の調整 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ）
	☐ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	☐ 制限する工種名（ ） 施工時期及び施工時間（ ） 施工方法（ ） ☐ 工種（ ）について、施工日の即日開放を原則とする。 ☐ 工種（ ）について、事前に（ 警察署 ）と立会を行い、確認後、施工すること。
	☐ 工期	☐ 工期は、繰越手続きが完了後、（ 年 日 ） までに変更します。
	☐ 他機関との協議が未完了	☐ 協議が必要な機関名（ ） 協議完了見込み時期（ ）
	☐ 占用物件との工程調整の必要あり	☐ 占用物件名（ ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ その他（ ） ）
	☐ 支障物件の移設	☐ 施工に支障となり、ゴミ置場等の移設が必要な場合は、施工前に関係機関、所有者、関係自治会等と調整を図ること。また、移設場所及び移設時期を所有者、関係自治会等へ事前に回覧等を配布するなど周知の徹底を図ること。なお、調整結果を監督員に報告すること。
	☐ 地下埋設物等の損害	☐ 地下埋設物及び架空線等上空施設の調査結果を監督員に報告すること。また、地下埋設物件等に損害を与えた場合は、直ちに関係機関に通報及び監督員に連絡し、応急措置を取り補修するとともに、周辺住民に対して適切な処置を講じること。
	☐ 官公庁への手続き等	☐ 道路の使用許可申請及び消防長への道路工事の届出等を行うこと。また、諸手続きにおいて、許可、承諾を得たときは、その書面の写しを監督員に提出すること。
	☐ 通学路確認	☐ 工事箇所を通学区域とする学校に確認し、通学路であった場合は、対象の学校と協議し、工程の調整を図り、通学者の安全を確保すること。また、学校との協議結果を監督員に報告すること。
	☐ 部分使用	☐ 部分使用箇所（ ） ☐ 部分使用時期（ ） ☐ 部分使用目的（ ）
	☐ 部分引渡し	☐ 部分引渡し指定部分（ ） ☐ 部分引渡し時期（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）

（注） 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
用 地 関 係	☐ 用地補償物件の未処理箇所あり	☐ 未処理箇所（ ☐ 別添図等 ☐ No. ～No. ☐ 別途協議 ） ☐ 完了見込み時期（ ☐ 令和 年 月 頃 ☐ 別途協議 ）
	☐ 仮設ヤードの有無	☐ 仮設ヤード（ ☐ 官有地 ☐ 民有地 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 仮設ヤード使用期間（ ） ☐ 仮設ヤードからの運搬距離（L＝ km） ☐ 使用条件・復旧方法（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
公害対策関係	☒ 施工方法の制限あり	☒ 制限項目（ ☐ 騒音 ☐ 振動 ☐ 水質 ☐ 粉じん ☒ 排出ガス ☐ その他（ ）） ☐ 施工方法等（ ☐ 指定工法名（ ） ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 施工時期（ ）
	☐ 事業損失防止に関する調査あり	☐ 調査項目（ ☐ 騒音測定 ☐ 振動測定 ☐ 水質調査 ☐ 近接家屋の事前調査 ☐ 近接家屋の事後調査 ☐ 地盤沈下測定 ☐ 地下水位等の測定 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 調査方法（ ☐ 別途資料 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 家屋調査は、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、三重県業務委託共通仕様書に基づき調査を実施すること。また、調査に従事する者（補助者を除く）は、調査対象物件に応じた建築士法第2条に規定する建築士の資格を有する者を充てること。なお、身分証明書交付願を速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後に家屋調査を実施すること。
	☐ 地下水位低下工	☐ ウェルポイントは、近隣家屋の事前調査完了後に着手すること。また、工事現場周辺の井戸調査を行い、井戸が残存する場合は、井戸の水位の変化に細心の注意を払うこと。なお、近隣家屋の事前箇所及び井戸調査範囲は、監督員と協議すること。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
安全対策関係	☐ 近接施設等に対する制限	☐ 既存施設あり ・近接公共施設（ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ その他（ ）） ・近接施設（ ☐ 擁壁（ ） ☐ ブロック塀 ☐ 家屋 ☐ その他（ ）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 ☐ 工法制限あり ・制限を受ける工種（ ） ・制限内容（ ）
	☒ 現場での安全確保（自主施工の原則）	☒ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☒ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたいうで、工事を実施すること。
	☒ 事故速報の提出	☒ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	☒ 掘削（床掘り）	☒ 図面に表記した掘削及び床掘ラインは、数量算出に用いたものであり、掘削の深さ、掘削を行っている期間、土質条件、地下水の状況及び周辺地域の環境条件等を総合的に勘案し、安全かつ確実に施工すること。
	☐ 作業後の現場確認	☐ 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所は即日補修を行うものとする。
	☐ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	☐ 安全防護施設等の配置（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 保安要員の配置（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	☒ 交通安全施設等の指定あり	☒交通安全施設等の配置（☐別添図等☐その他（☐）☒別途協議） ☐交通誘導警備員の配置（☐別添図等☐その他（☐）☐別途協議） ☐指定路線☐指定路線以外 ☐交通誘導警備員の配置人員数 ☐概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員 A：人 B：人 （注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。） ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 ☐積上げによる算出 配置人員数（人）（うち交通誘導警備員A（人）） （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。） ☐交通誘導警備員の配置時間（) ☐交通誘導警備員の配置期間（) ☐交通誘導警備員配置の対象工種（)
	☒ 定期安全研修・訓練等	☒安全教育及び安全訓練等は、工事着手後、作業員全員（交通誘導警備員含む）の参加により月当たり、半日以上の時間を割当て、以下の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施すること。また、作業員全員の参加が困難な場合は、分割して実施する事も出来る。なお、安全教育及び安全訓練等の実施状況を記録した資料及び写真を整備及び保管し、監督員及び検査員に提示すること。 (1)安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 (2)当該工事内容等の周知徹底 (3)工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 (4)当該工事における災害対策訓練 (5)当該工事現場で予想される事故対策 (6)その他、安全・訓練等として必要な事項 ☒安全教育及び安全訓練等は、以下に示す項目の具体的な計画を作成し施工計画書へ記載すること。 (1)工事期間中の月別安全研修・訓練等実施全体計画 (2)全体計画には、下記項目の活動内容について具体的に記述する。 1)月当たり半日以上の時間を割り当てた安全研修・訓練等の実施内容・工程に合わせた適時の安全項目 2)資機材搬入者等一時入場者への工事現場内誘導方法 3)現場内の業務内容及び工程の作業員等への周知方法 4)KY及び新規入場者教育の方法 5)場内整理整頓の実施 6)その他安全に関する取組み
	☒ 安全巡視等	☒安全巡視者を定め、安全巡視者はその所在を明らかにするとともに、施工計画書の内容、工事現場の状況、施工条件及び作業内容を熟知し、適時、作業員等の指導及び安全施設や仮設備の点検を行い、工事現場及びその周辺の安全確保に努めること。また、安全巡視、KY活動、TBM等の実施状況を記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	☒ 災害防止協議会（安全衛生協議会）の設置	☒ 下請け契約を締結する場合には、下請負人の工事施工・安全管理の責任者等を含め、災害防止協議会を設置し、作業間の連絡調整を図り、災害防止に努めること。また、協議会の開催は毎月1回以上とする。なお、実施状況を記録した資料（実施状況写真があることが望ましい）を保管し、監督員及び検査員に提示すること。
	☒ 新規入場者教育	☒ 新規入場者教育等（交通誘導警備員を含む）は、本工事の現場特性を反映した内容で実施すること。また、実施状況がわかる記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。
建設発生土・産業廃棄物関係	☐ 建設発生土受入地の指定あり	☐ 受入地の条件（ ☐ 別途図面 ☐ 運搬距離（L＝ km） ☐ 受入料金あり ☐ 受入料金なし ☐ 別途協議 ☐ その他（ ））
	☐ 建設発生土受入地未定	☐ 受入地未定につき別途協議する。（ ☐ 暫定運搬距離L＝ km、 ☐ その他（ ） ）
	☒ 産業廃棄物の処理条件あり	☒ 産業廃棄物の種類（ ☐ コン塊 ☐ アス塊 ☒ 木材 ☐ 汚泥 ☐ その他（ ）） ☒ 産業廃棄物の処分地（ ☒ 再生処分場（ ） ☐ 最終処分場（ ） ☐ 別添図書 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 ☐ 処分場の受入条件（ ） ☐ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。
	☒ 再生資源利用計画	☒ 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	☒ 再生資源利用促進計画	☒ 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	☒ 産業廃棄物税	☒ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
	☒ 産業廃棄物処理	☒ 産業廃棄物の処理を委託する場合には、廃棄物処理法に規定する委託基準を遵守し、産業廃棄物収集運搬業者等、産業廃棄物処分業者等との契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提出すること。 ☒ 産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより、適正に処理されたことを確かめるとともに監督員に提示すること。また、完成検査時に検査員に提示すること。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
工事用道路関係	☐ 一般道路（搬入路）の使用制限あり	☐ 経路及び使用期間の制限内容（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
	☐ 仮設道路の設置条件あり	☐ 使用中及び使用後の措置（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
		☐ 用地及び構造（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
		☐ 安全施設（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
施 工 条 件	☒ 施工	☒ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担において処理すること。 ☐ 工事期間中（養生期間中を含む）の工事箇所隣接する乗入れについて、所有者（使用者）と施工前に協議し、施工時間の調整を行い、必要に応じ鉄板等を用いるなど乗入れを確保すること。また、受注者は、完成後の乗入れの形態を所有者に事前に説明し、了承を得ること。 ☒ 排水構造物の施工中は、常に通水可能な状態を確保すること。また、降雨時等は状況把握に努め、必要に応じて臨機の措置を講じること。 ☒ 受注者は、工事箇所に官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鉄、プレート等）が発見された場合は、オフセット等境界を示すものの位置が明確となる資料及び状況写真を添付し、施工前に監督員に報告すること。 また、用地付近又は官民境界付近に接して工事を行う場合には、地権者の了承を得て着手すること。 ☒ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。
	☒ 環境対策	☒ 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 ☒ 既存排水施設等に影響を及ぼす恐れのある濁水（土粒子を多量に含むもの）は、沈砂または濾過施設を通すなど濁りの除去等の行った後、放流すること。また、万が一環境に影響を及ぼす事態が発生した場合は、受注者の責において解決に当たること。
	☐ 支援技術者	☐ ① 本工事の現場における現場技術業務を（公財）三重県建設技術センターに委託するため、支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場立会、観察又は検測を行う場合は、業務に協力すること。また、書類（施工体制台帳、施工計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じること。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しない。 ② 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合は、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 ③ 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 ④ 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者：
	☒ 電子メールを活用した情報共有	☒ 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については、津市建設工事電子メールを活用した情報共有に関する実施要領に基づき、監督員の指示によるものとする。
	☒ デジタル工事写真の電子小黒板の使用	☒ デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。
	☐ I C T活用工事	☐ 「I C T活用工事（土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和5年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（土工 1,000m3未満）特記仕様書【施工者希望型】」令和5年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（小規模土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和5年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（舗装工）特記仕様書【施工者希望型】」令和4年1月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（法面工）特記仕様書【施工者希望型】」令和5年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（地盤改良工）特記仕様書【施工者希望型】」令和4年1月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（河川浚渫）特記仕様書【施工者希望型】」令和4年1月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（舗装工（修繕工））特記仕様書【施工者希望型】」令和4年1月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（擁壁工）特記仕様書【施工者希望型】」令和4年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（基礎工）特記仕様書【施工者希望型】」令和4年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「I C T活用工事（構造物工（橋脚・橋台））特記仕様書【施工者希望型】」令和5年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
	☒ 週休 2 日モデル工事	☒ 「特記仕様書（土木工事編）（受注者希望型）」を適用（津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）、週休 2 日モデル工事の試行について」を参照） ☐ 「特記仕様書（土木工事編）（発注者指定型）」を適用（津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）、週休 2 日モデル工事の試行について」を参照）
	☒ 熱中症対策	☒ 「熱中症対策に資する現場管理費の補正に関する特記仕様書（三重県）に準拠すること。また、「気温の計測方法」「計測結果の報告方法」「具体的な熱中症対策の方法」について施工計画書に記載するとともに、熱中症対策実施後においては、実施状況について写真を添付して報告すること。
	☐ 公園内工事	☐ 公園利用者の安全確保につとめ、工事箇所に工事関係者以外が立ち入ることのないよう、注意して施工するものとする。

（注） 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
施 工 条 件	☐ 災害復旧	☐ 工事用道路として使用する敷地は、施工期間中及び施工終了時に原形に復旧すること。また、地権者より制約条件、時間的制約等、要望された場合は、速やかに監督員に報告すること。 ☐ 本工事は、建設工事請負契約書の条項第29条第4項の「特記仕様書で定める災害応急対策又は災害復旧に関する工事」の対象工事である。
	☐ 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり	☐ 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ）
	☐ 現場発生品あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ）
	☐ 支給品あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ） 時期（令和 年 月 日） その他（ ）
	☐ 盛土材等工事間流用あり	☐ 運搬方法（ ☐ 受注者で運搬 ☐ 受注者以外で運搬 ☐ 別途協議 ☐ その他（ ） ） ☐ 引渡場所（ ☐ 別添図等 ☐ 別途協議 ☐ その他（ ） ） 数量（ ） 運搬距離（L＝ km）
	☒ 現場パトロール	☒ 公共工事の品質確保の促進を図る目的として、津市政策財務部検査課において、施工状況の確認等現場パトロールを実施することがある。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
工 事 支 障 物 件 関 係	☐ 工事支障物件あり	☐ 支障物件名（ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 有線 ☐ その他（ ） ） ☐ 移設時期（ ☐ 令和 年 月 頃 ☐ 別途協議） ☐ 防護（ ） ☐ その他（ ）
	☐ その他	☐ その他（ ）
監督の区分	☒ 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。） ☐ 重点監督	重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 ☐ 全ての工種に適用する。 ☐ 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
仮設備関係	☐ 仮設備の設置条件あり	☐ 使用期間及び借地条件（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 転用あり（ 回） ☐ 兼用あり（ ） ☐ その他（ ）
	☐ 水替工（締切排水工）	☐ 施工条件の指定なし ☐ 施工条件の指定あり ① 水替工（締切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（締切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 ☐ その他（ ）
仮設備関係	☐ 仮設物の構造及び施工方法の指定	☐ 構造及び設計条件（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 施工方法（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
再生材使用関係	☒ 再生材使用の指定あり	☒ 再生材の種類（ ☐ 再生Asコン ☐ 再生路盤材 ☒ 再生クラッシャーラン ☐ 道路用盛土材 ☐ 再生コン砂 ） ☒ 再生材が使用出来ない場合の措置（ ☐ 新材に変更 ☐ その他（ ） ☒ 別途協議 ）
	☐ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	☐ 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	☒ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	☒ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。 （認定製品の品名： ☐ 盛土材 ☐ 埋戻し材 ☐ サンドクッション材 ☐ 上層路盤材 ☒ コンクリート二次製品 ☐ グレーチング ☐ その他（ ）） ☒ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： ☐ 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
コリンズ作成・登録	☒ コリンズ（CORINS）の作成・登録	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設発生土情報交換システム	☒ 建設副産物情報交換システム	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。
	☒ 建設発生土情報交換システム	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
提出書類	☒ 工事完成報告書	☒ 工事完成報告書の提出部数は2部とする。また、様式については、津市ホームページ（入札等に関する各種様式（工事・コンサル）に定められたものとする。
	☒ 完成写真	☒ 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4）
	☒ 施工計画書（作業主任者）	☒ 作業主任者を選任すべき作業については、作業名及び作業主任者の氏名等を施工計画書へ記述するとともに資格者証の写しを施工計画書へ添付して提出すること。また、就業制限の対象業務及び特別教育の必要な対象業務も同様とする。
	☒ 施工体制台帳	☒ 工事を施工するために下請契約（一次下請負人となる警備業者との契約含む）を締結した場合、工事着手までに、原則として電子データで施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、添付書類も含めその写しを監督員に提出すること。また、施工体制に変更が生じた場合も同様とする。
	☒ 部分下請通知書	☒ 工事の一部分において、下請負に付する場合には、部分下請通知書を当該下請負業者の施工開始日までに提出すること。部分下請通知書には、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、主任技術者等の資格者証の写し及び主任技術者等の雇用関係書類を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請負業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。また、添付書類については、施工体制台帳と兼ねることができる。
	☒ 工事使用材料	☒ 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を特に明示した場合を除き、三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月）に示す規格に適合したものとする。また、使用する材料の品質証明の資料確認（提示及び提出）は、施工計画書作成時に監督員と協議すること。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
電 子 納 品	☐ 工事完成図書（工事写真含む）	☐ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。
	☒ 電子納品対象外	また、受注者が希望しない場合は監督員の承諾を得て、電子納品としないことができる。 電子媒体の提出部数は、（ ☐ 2部 ☐ （ ）部）とする。 ☐ 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和 5 年 7 月改訂）を適用
薬液注入関係	☐ 薬液注入工法等の指定あり	☐ 設計条件（ ） 工法区分（ ） 材料種類（ ） 施工範囲（ ） ☐ 削孔数量（ ） 注入量（ ） その他（ ）
	☐ 提出書類あり	☐ 工法関係（ ） 材料関係（ ）
	☐ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）

（注） 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
社会保険等未加入対策	☒ 社会保険等未加入対策（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	☒ 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
法定福利費の負担	☒ 法定福利費を明記した標準見積書の活用	☒ 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用に努めること。（津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）
配慮依頼事項	☒ 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用	☒ 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあつては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮すること。
	☒ 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製品の使用	☒ 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮すること。
	☒ 建設機械、機器等の借入れ	☒ 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。
	☒ 使用人等において市民の活用	☒ 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。
特例監理技術者の設置	☐ 特例監理技術者の設置	☐ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。なお、配置を行う場合は、追加特記仕様書〔特定管理技術者等の配置〕に示す要件を全て満たさなければならない。（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）
津市公契約条例	☒ 津市公契約条例に関する特記	☒ 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあつては、別紙誓約事項に違反したとき。
	☒ 労働環境の確保に係る誓約事項	☒ 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
暴力団等の不当介入の排除等	☒ 暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	☒ 締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等(以下「暴力団等」という。)の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。 1 受注者の義務 (1) 契約の相手方及び下請負人等(以下「受注者等」という。)は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 (2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。 (5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。 (6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。 2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 (1) 入札参加資格等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。 (2) 上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。 3 契約等の解除 (1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。
建設業退職金共済制度に係る事務手続き	☒ 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについて	☒ 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについては下記のとおりとする。 1 建設業退職金共済制度への加入 受注者は、三重県公共工事共通仕様書に定めるところにより、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入すること。 2 契約締結時の提出書類 工事の受注者は、必要な枚数の共済証紙を購入し、原則として契約締結後1ヶ月以内に、取扱機関から交付される掛金収納書を「掛金収納書提出用台紙」に添付して、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。ただし、電子申請方式により退職金ポイントを購入する場合は、契約締結後原則として40日以内に、電子申請専用サイトで発行される掛金収納書（電子申請方式）について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。自社で退職金制度がある等の理由により、証紙を購入しない場合は「建設業退職金共済証紙購入適用除外届」について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。 3 共済証紙購入額 掛金収納書提出用台紙の「当該工事における共済証紙購入の考え方」1～4によるものとし、当該労働者の就労予定延べ人数や、当該工事における労働者の制度加入率の把握に努め、「考え方」2又は3によることが望ましいが、これにより難しい場合は「考え方」1とし、契約金額（税込）の1000分の1.7以上を目途とすること。 4 共済証紙等の管理 購入した共済証紙については、「工事別共済証紙受払簿」を作成し購入枚数や交付枚数の管理に努めること。また、適切に対象労働者の就労状況等を把握し、共済証紙の交付等を行うこと。 5 工事完成後の提示書類 工事完成後、速やかに掛金充当日数と証紙購入日数に概ね齟齬がないことを確認し、「掛金充当実績総括表」を作成し、監督員に提示すること。また、事務手続きの履行状況を確認するため、必要に応じて「工事別共済証紙受払簿」又はその他関連書類の提示を求める場合がある。 6 建設キャリアアップシステムの活用 建設キャリアアップシステム（以下 CCUS という。）に事業者登録を行っている受注者は、カードリーダーの設置等の就業履歴が蓄積可能な環境整備に努めること。また、CCUS の活用により対象労働者の就労状況等を適切に把握し、就業履歴数と対象労働者の就労状況報告との間で齟齬が生じないように留意すること。
津市工事請負の地元調整	☒ 津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書	☒ 本工事の地元調整については下記のとおり行うものとする。 1 趣旨 津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。 2 発注者及び受注者の責務 (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。 (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
津市工事請負の 地元調整		3 定義 (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合など利害関係者の代表者を含むものとする。 (2) 「不当要求行為等」とは、 ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為 イ 暴力行為、脅迫行為 ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為 エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為 オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為 カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為 (3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。 4 工事説明の進め方 (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。 (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関する内容を、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。 (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。 (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。 (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。 (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。 5 不当要求行為等 (1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成１８年１月１日規則第６号）第４条第１項第２号に規定する部次長、同条第２号の２項に規定する局次長、同条第２項に規定する所長及び同条第５項第２号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。 また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。 (2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。 (3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。
その他	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）

（注） 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特 記 仕 様 書

この特記仕様書は、津市が発注する林道工事の施工について、設計図書及び三重県公共工事共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）に明記してあるもののほか、すべてこの仕様書により施工しなければならない。

第 1 土地の形質等の変更行為

林道工事にかかる請負者任意の土地の形質等の変更行為については、次の各号を遵守しなければならない。

1. 請負者が任意に道路・重機搬入路・資材置場・車廻し等（以下「任意仮設道等」という。）を施工する場合は、溪流及び森林の荒廃につながるような施工を行わないこと。
2. 任意仮設道路等とは、設計図書において施工位置、規模、規格、構造が指定されていないものをいう。
3. 任意仮設道等を施工する場合は、事前に当該行為及び原形復旧内容について土地所有権者の承諾を得るとともに、請負者の責任において原形復旧をしなければならない。この場合、原形復旧とは、土砂の流出・崩壊が生じない程度に復旧することといい、植生を消滅させた場合は、人工張芝等によりその回復を図ることをいう。
4. 前項の原形復旧が困難な場合は、土地所有権者の承諾の範囲内において次のとおり復旧しなければならない。
 - ①任意仮設道等は、必要最小限度の面積とする。
 - ②切取のり面及び盛土のり面は崩壊の防止が図られるよう切取のり面勾配及び盛土のり面勾配は当設計図書に準ずるとともに、人工張芝等によりのり面保護工を施工する。
 - ③盛土のり先が溪流に達しないよう施工するとともに、盛土部が崩壊しないようのり先に石積工等を施工するなどの処置を講ずる。
 - ④任意仮設道等の施工にあたり発生した残土は、土石の流出防止措置を講じたうえで適切に処置することとし、工事的物へ悪影響を与えないこと。なお、任意仮設道等の施工の際発生した建設副産物は共通仕様書に従って、適切に措置しなければならない。
5. 第 1 項の 3 号及び 4 号に要する費用は請負者の負担とする。

第 2 林道工事の施工管理

1. 写真管理は、共通仕様書の写真管理基準(案)を遵守し、共通仕様書に記載された施工方法の履行状況及び設計仕様書に記載された名称、規格、数量が全て確認できるよう撮影しなければならない。

なお、写真撮影が不可能な場合は、事前に監督員と協議するものとする。
2. 切土及び盛土の段階で発生した土砂礫を仮置きする場合は、渓流水や湧水のない現

- 場内に仮置きするとともに周辺に土砂礫が流出しないよう配慮しなければならない。
3. 工事的物が完成した場合は、設計図書に準じて完成図面及び数量計算書(電子記憶媒体)を提出しなければならない。なお、提出期日は監督員の指示によるものとする。
 4. 過掘により当該林道の安全確保が低下する場合は監督員と協議のうえ林道規定等に基づく安全施設等を請負者の負担により施工しなければならない。
 5. 施工途中において、発注者が補償する立竹木以外の立竹木に損傷を与えた場合は、請負者の責により所有権者と協議し対処しなければならない。
 6. 擁壁工の床掘りが完了した場合は、二点載荷試験法(土力計)等により地盤支持力を測定し、監督員の確認を受け、適切に写真管理をしなければならない。ただし、底部が明らかに岩部である場合は、監督員の承諾を得た場合に限り省略することができる。
 7. 施工箇所終点部においては、規模、規格、構造が指定されていないが、土砂の流出・崩壊が生じないよう適切な処置を講ずる。

第3 植生工

1. 植生工

- 1) 植生工における生育判定(出来形管理基準)については、「2 生育状況の判定」によるものとし、工事完成時に生育状況判定基準(表一1)に定める植被率70%以上を満たしていなければならない。
- 2) 植生工の施工時期等により、工事完成検査時に植生の生育状況が確認できない場合は、別に期日を定め発注者と立ち会いを行い、植生状況について確認を行わなければならない。

なお、立ち会いについては発注者が(様式1 ※)により請負者へ通知するものとし、その結果について請負者は(様式2 ※)により発注者に報告するものとする。

2. 生育状況の判定

1) 調査方法

上記1における生育状況の判定は植被率により行うものとし、発注者と請負者が表一1により判定する。

植被率の調査は、植生工各工種毎に連続する法面単位で施工面積1000㎡につき1箇所の割合で、1m×1mのコドゥート(方形枠)を設定して行うものとする。

2) 判定基準

表一1 生育状況判定基準

工種	項目	施工植生の状態	可否	測定基準	備考
植生工	植被率	法面から10m離れると、法面全体が「緑」に見える。	可	工種毎・連続する法面単位で1000㎡につき1箇所の割合	確認結果については、別紙植生状況報告書にまとめること。
				植被率70%以上	
				植被率50～70%程度	
			不可	植被率50%以下	

※植被率：単位面積あたりの地表面に対し、植生の被覆する割合を百分率で表したもので目視により判断する。

3) 判定時期の目安

i 施工時期(春～初夏)：施工後3ヶ月程度

ii 施工時期(秋～冬)：翌年の6～7月頃(施工時期が1～3月の場合は、その年の6～7月頃)

3. 植生不良時の対応

1) 請負者は、1～2)による確認の結果「不可」と判断された場合、その原因が災害や異常な天然現象・被害等、請負者の責任に帰し得ない場合を除き、建設工事請負契約書第44条(かし担保)により再施工を行わなければならない。再施工にあつては、その時期、配合等について発注者と協議のうえ決定し、発注者は(様式3 ※)により請負者に通知するものとする。

なお、確認の結果が「保留」の場合は、1～2ヶ月後に再度判定を行う。

また、確認の結果が「可」であつた場合においても、その後、生育不良箇所が生じた場合は、同様に「かし担保」により再施工を行わなければならない。

2) 請負者は、再施工が完了した時は(様式4 ※)により、速やかに発注者に報告するものとする。

4. 適用範囲

飛来型ワット等、無種子による植生工には適用しない。

第4 立木の伐採・搬出について

1. 伐採作業員は、労働安全衛生法第59条第3項に基づき、同規則第36条第1項の八及び八の二に掲げる業務の安全衛生特別教育を受けた者でなければならない。
2. 立木の伐採にあたっては、周囲の健全木に損傷を与えないように十分注意するとともに、掛かり木を生じないように注意すること。
3. 請負者は、工事の支障とならないよう、伐採した立木を適切に枝払い・玉切りを行ったうえで、必要に応じてワイヤーロープ等を用いて、速やかに監督員が指定する土場等まで搬出すること。
4. 請負者は、立木の伐採及び直近土場等への搬出が完了した時には、監督員の確認を受けるものとする。

※(様式1～4)については受注契約完了後、別途指示する。